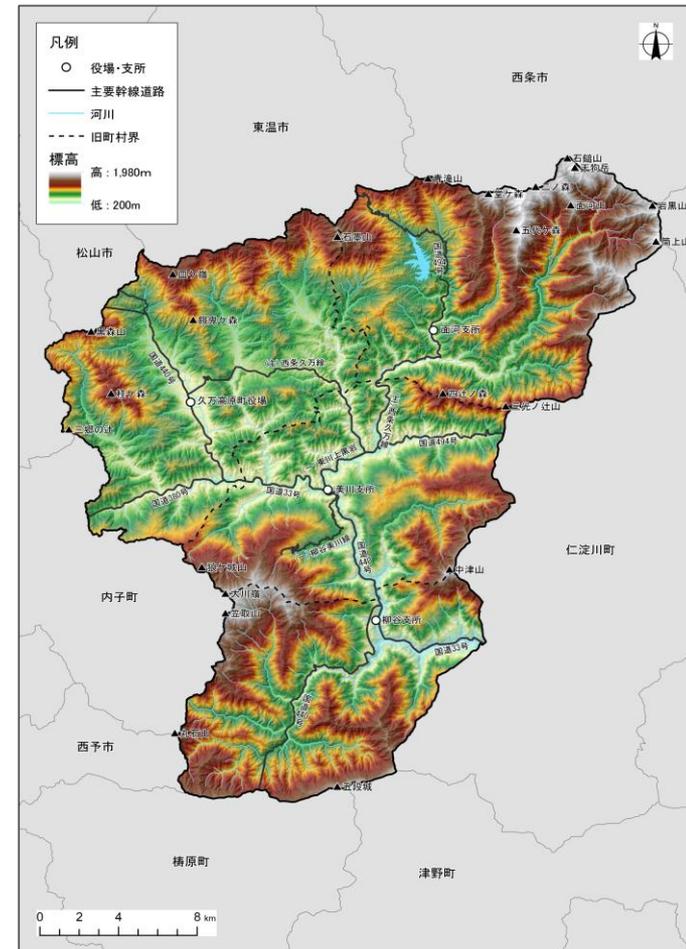


2. 久万高原町の現状

久万高原町の基本認識（1/1）

- ▶ 総面積：約58,369ha、平均標高：約800m
- ▶ 愛媛県下で最も広く高い中山間の町

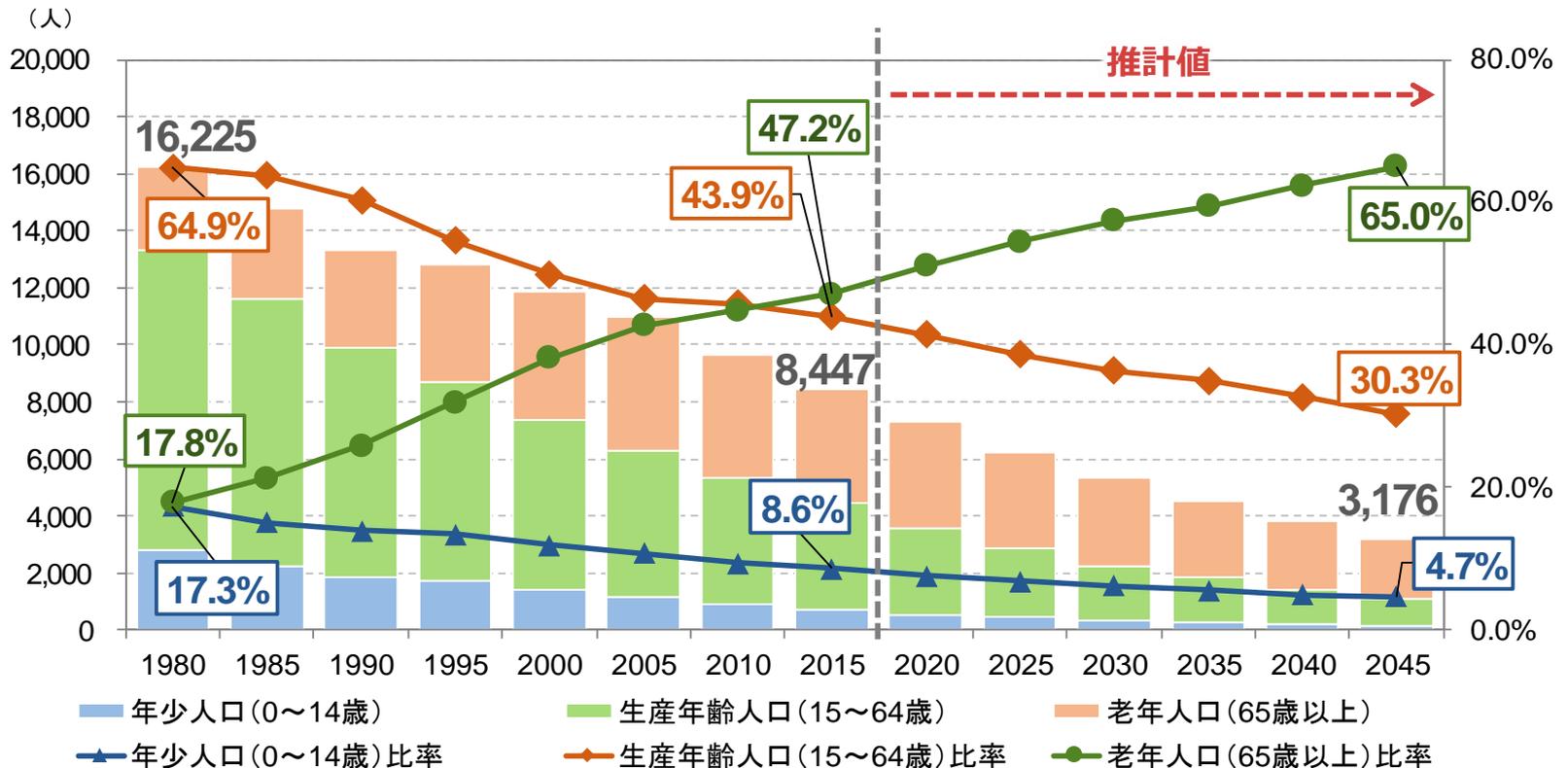


資料：国土数値情報、基盤地図情報数値標高モデル（国土地理院）

▲ 久万高原町の位置・地勢

▶ 人口は一貫して減少傾向で今後もその傾向は続くと予測されている（2015年から2045年の人口減少率は▲62.4%と愛媛県下で最大）

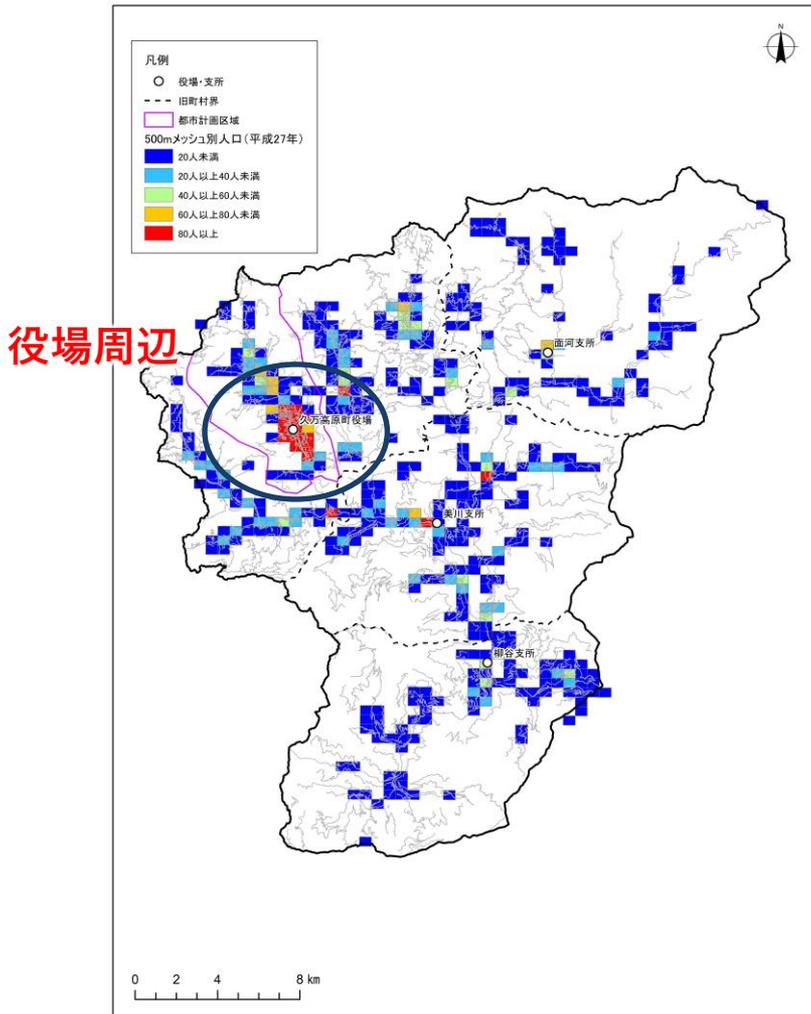
▶ 2020年以降の老年人口（65歳以上）比率は過半数



資料：国立社会保障・人口問題研究所

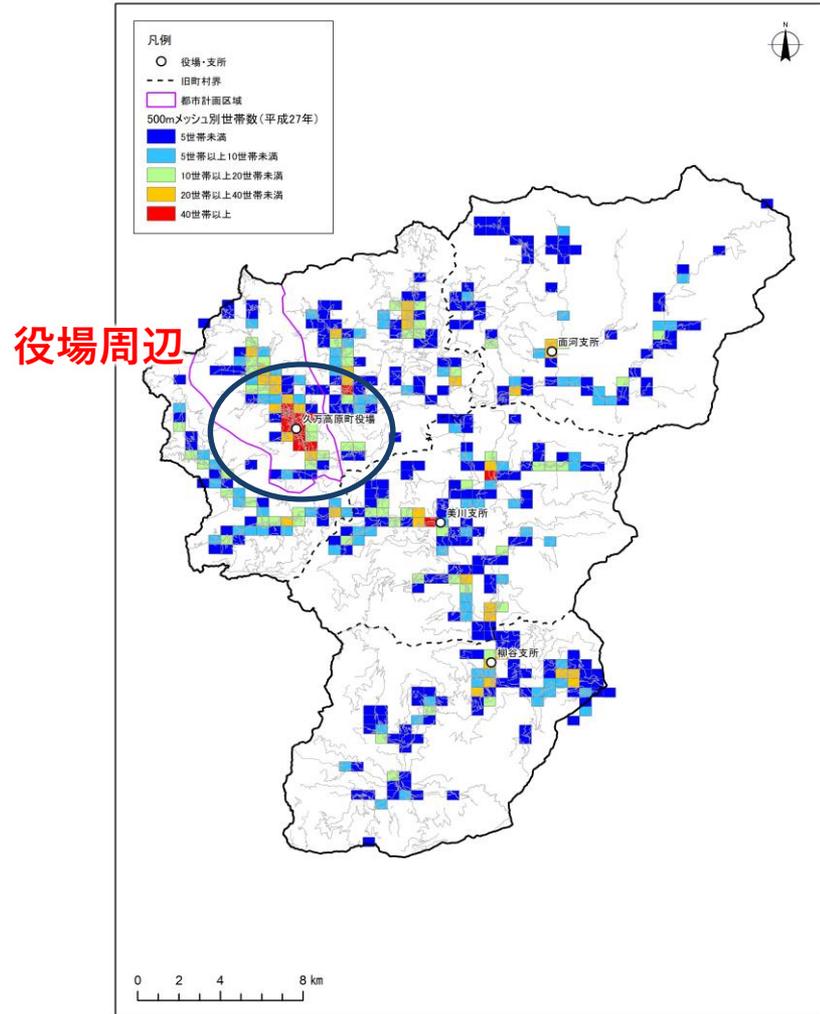
▲ 将来人口動向

▶ 人口・世帯数分布は役場周辺に集積 (一部美川支所など)



資料：国勢調査

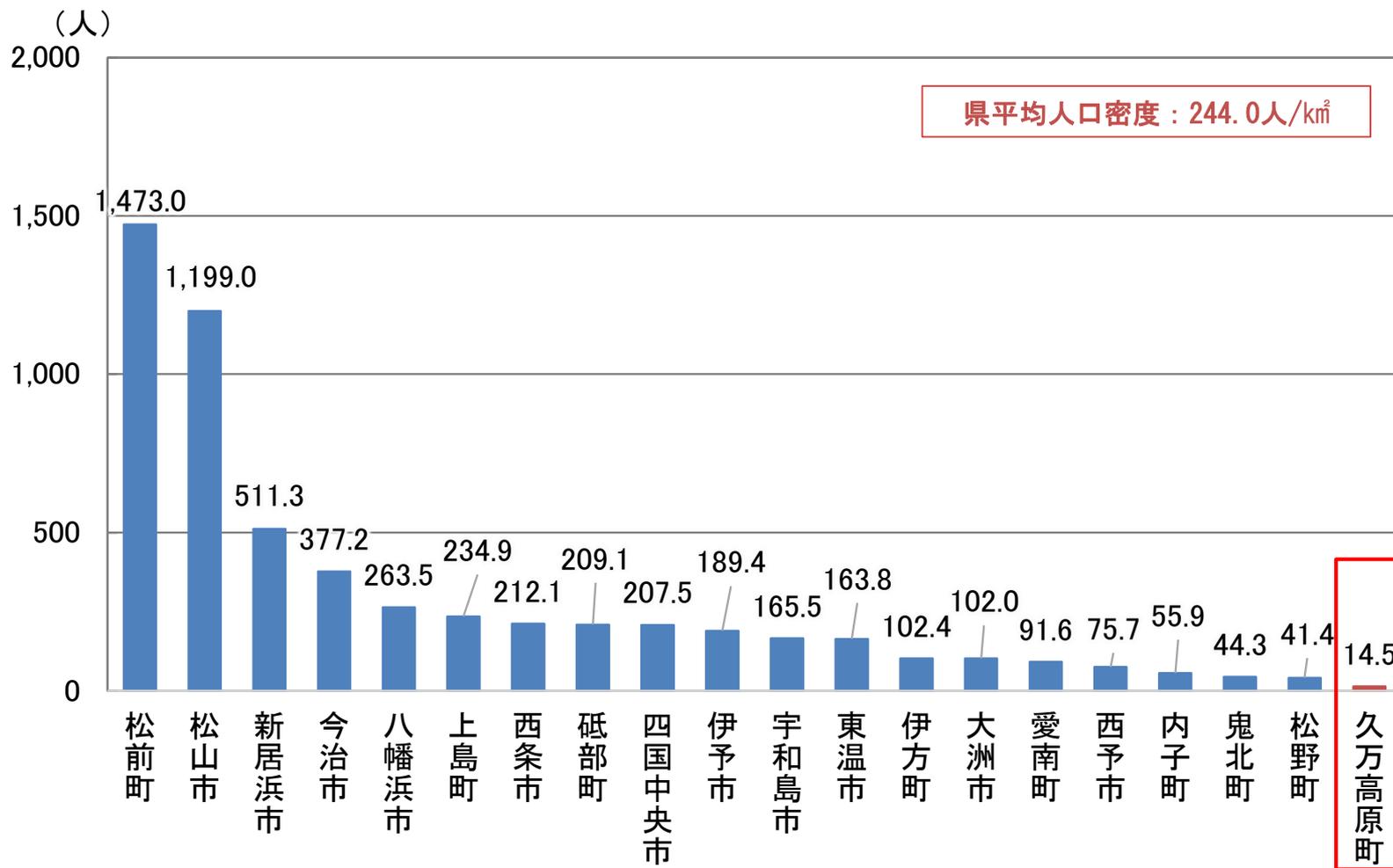
▲ 500mメッシュ別人口 (平成27年)



資料：国勢調査

▲ 500mメッシュ別世帯数 (平成27年)

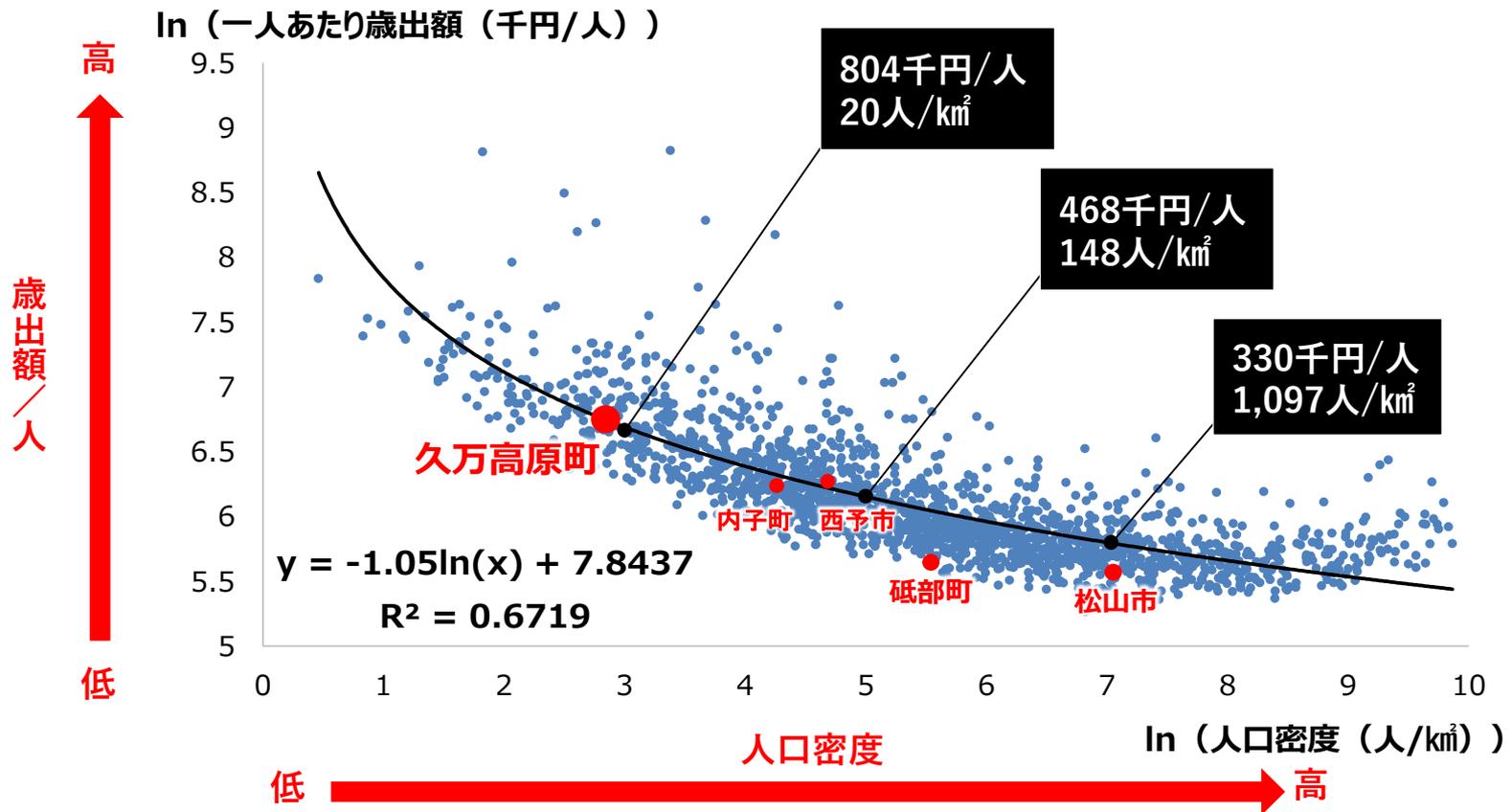
▶ 町全体の人口密度は14.5人/km²と愛媛県下で最も低い



資料：国勢調査

▲ 県内他自治体との人口密度比較 (平成27年)

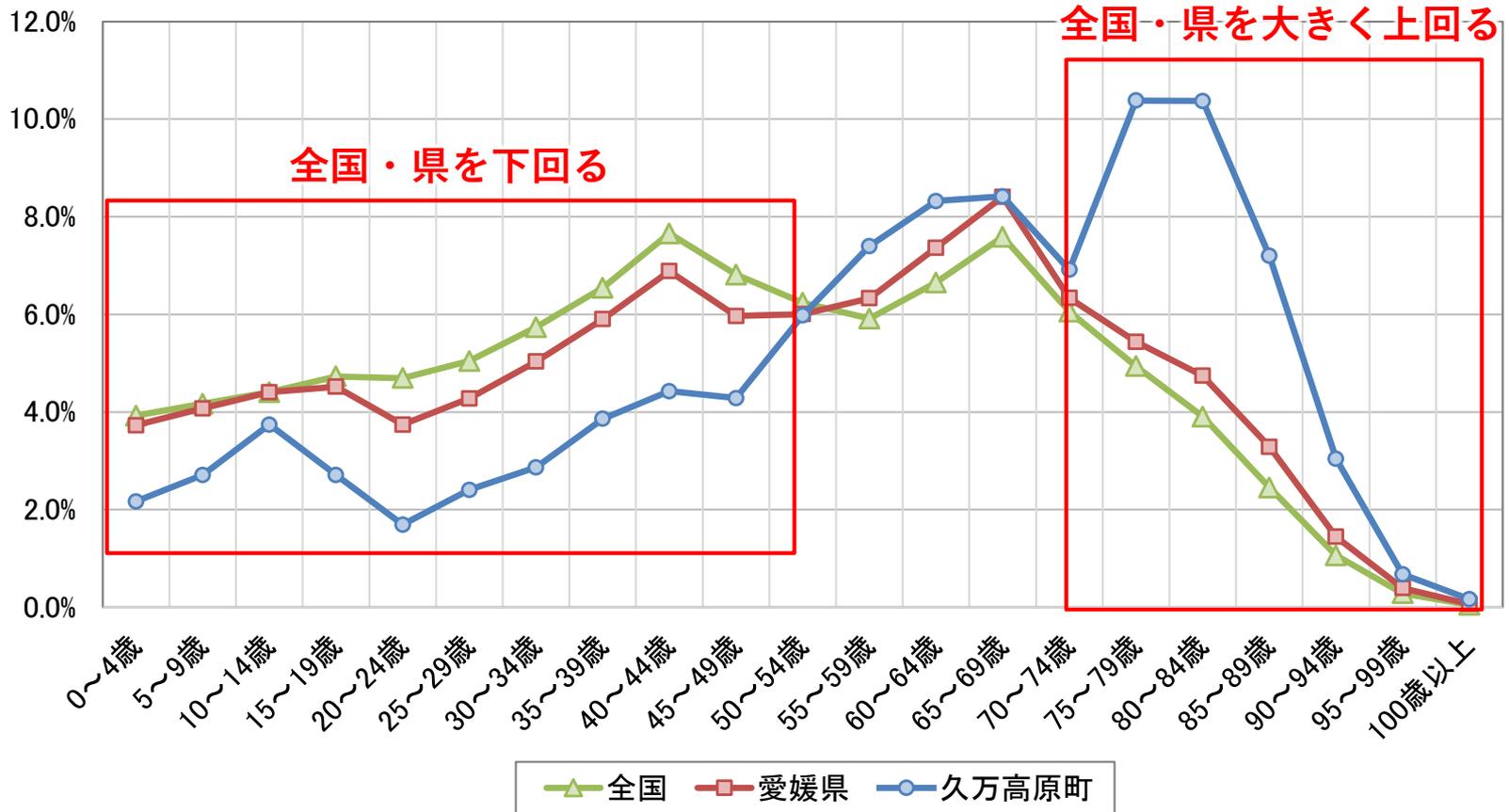
▶ 人口密度が高いと、医療・福祉・公共施設の整備（維持管理）、除雪・ゴミ収集といった行政サービスの他、商業・金融及び情報通信技術の供給などの各種サービスの効率化が図られる



資料：国土交通省

▲ 市町村 (全国) の人口密度と行政コスト

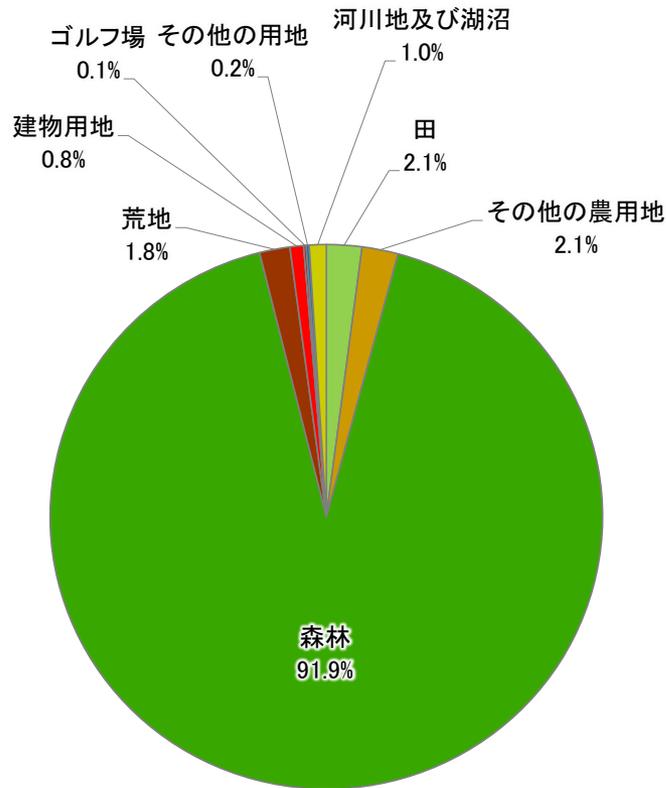
▶ 平成27年における5歳階級別人口をみると、国や県の割合と比較して50歳未満の割合は少なく、75歳以上の割合は大きく上回る



▲ 5歳階級別人口の比較 (平成27年)

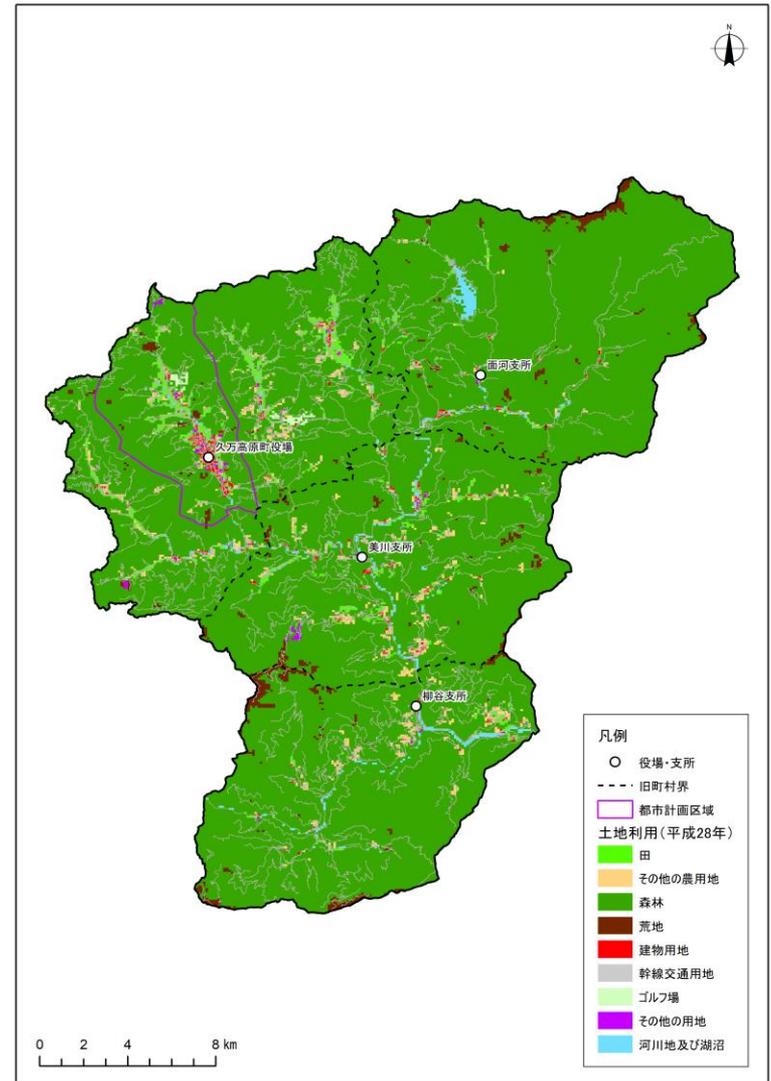
資料：国勢調査

▶ 町全域の土地利用状況は森林 が約9割



資料：国土数値情報

▲ 町全域の土地利用割合（平成28年）

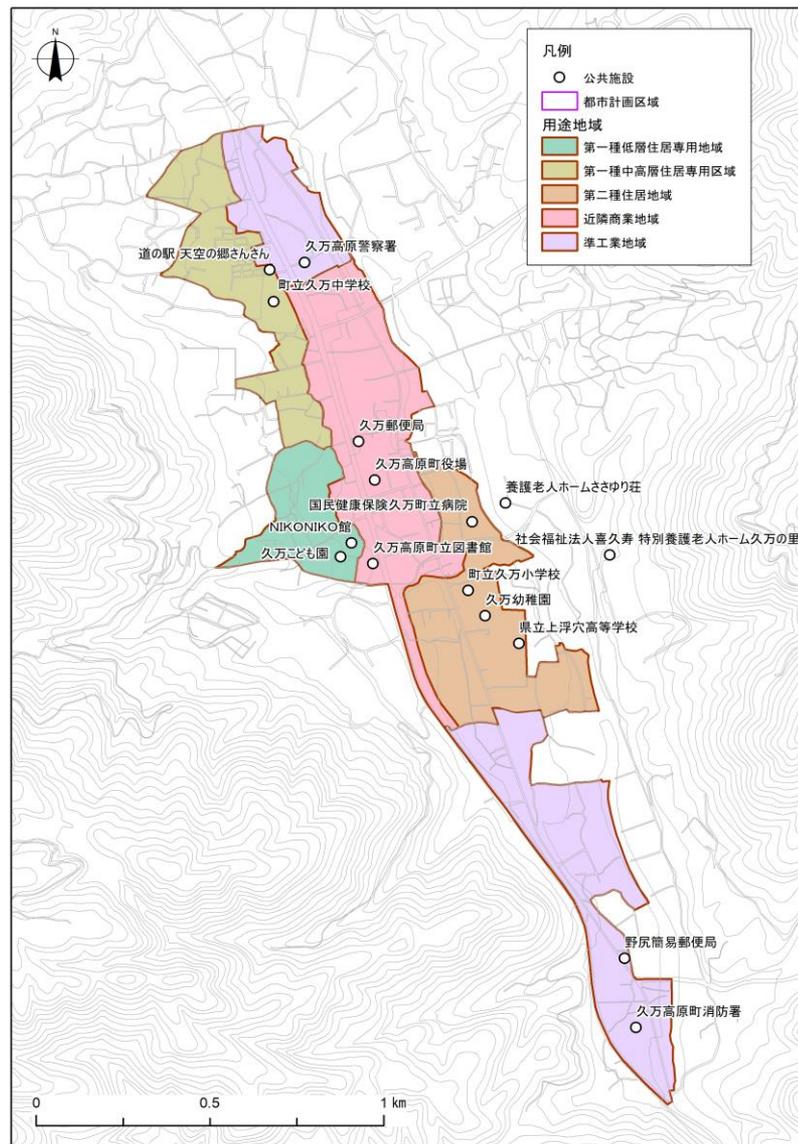


資料：国土数値情報

▲ 土地利用細分メッシュ（平成28年）

▶ 久万高原町では、都市計画区域内の一部に用途地域が指定されている

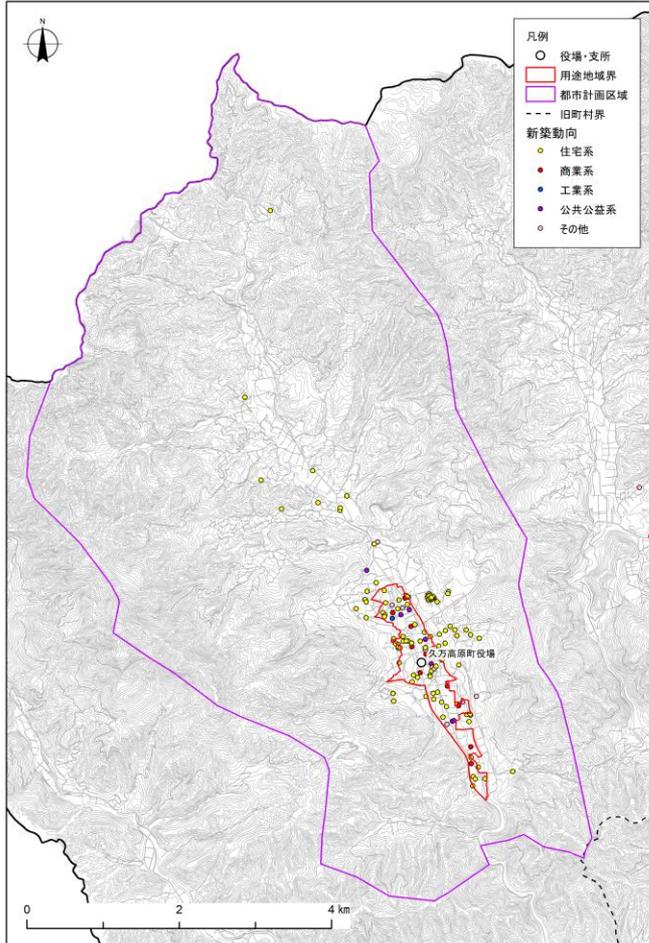
名称	面積	容積率	建ぺい率	建築物の高さの限度	指定割合
第一種低層住居専用地域	約8.5ha	10/10以下	5/10以下	10m	8.7%
第一種中高層住居専用地域	約14ha	15/10以下	5/10以下	—	14.4%
第二種住居地域	約20ha	20/10以下	—	—	20.5%
近隣商業地域	約25ha	20/10以下	—	—	25.6%
準工業地域	約30ha	20/10以下	—	—	30.8%
計	約97.5ha	—	—	—	100.0%



資料：都市計画総括図

▲ 用途地域の指定状況

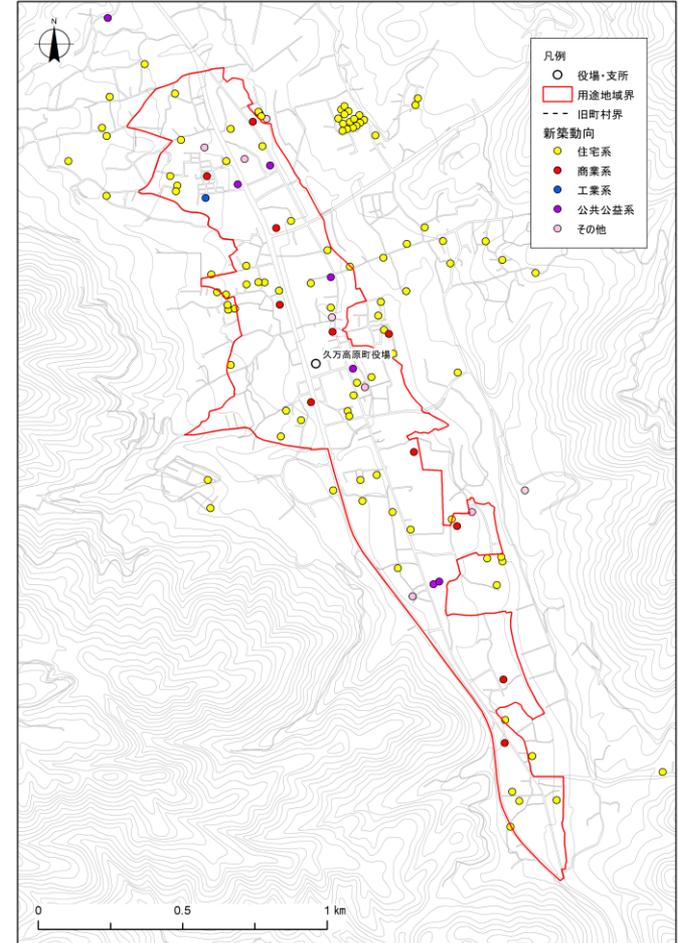
▶ 新築動向 (平成23年～令和2年) をみると、町域全体では139件、そのうち用途地域内では61件



資料：都市計画基礎調査、庁内資料

▲ 新築の分布状況 (都市計画区域)

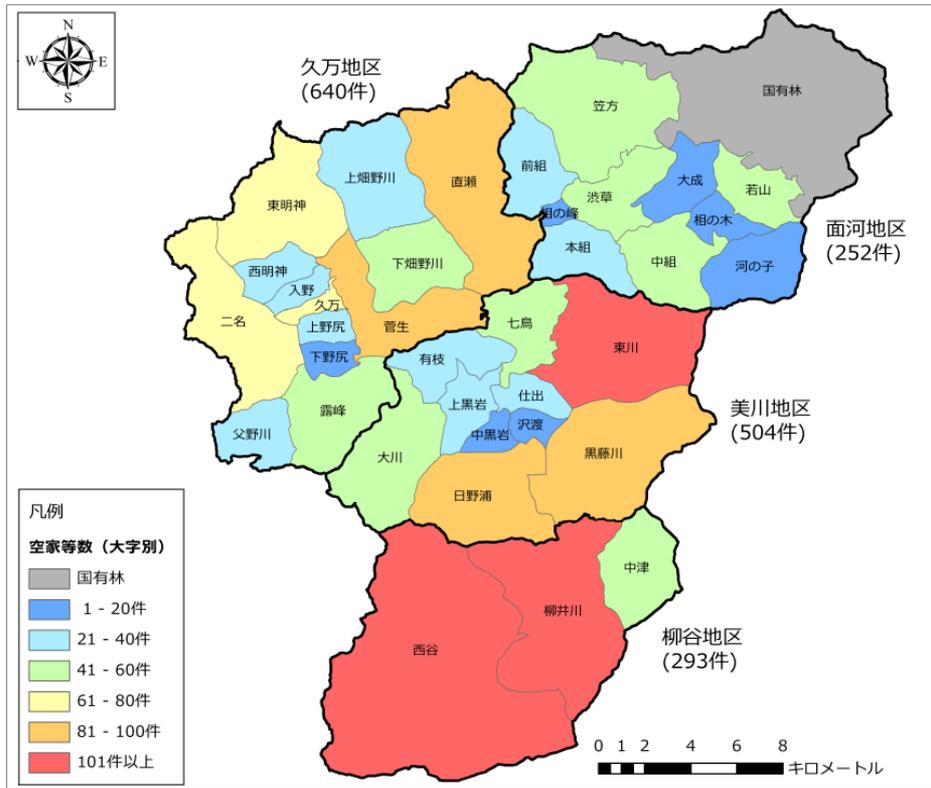
➡
中心部の
拡大



資料：都市計画基礎調査、庁内資料

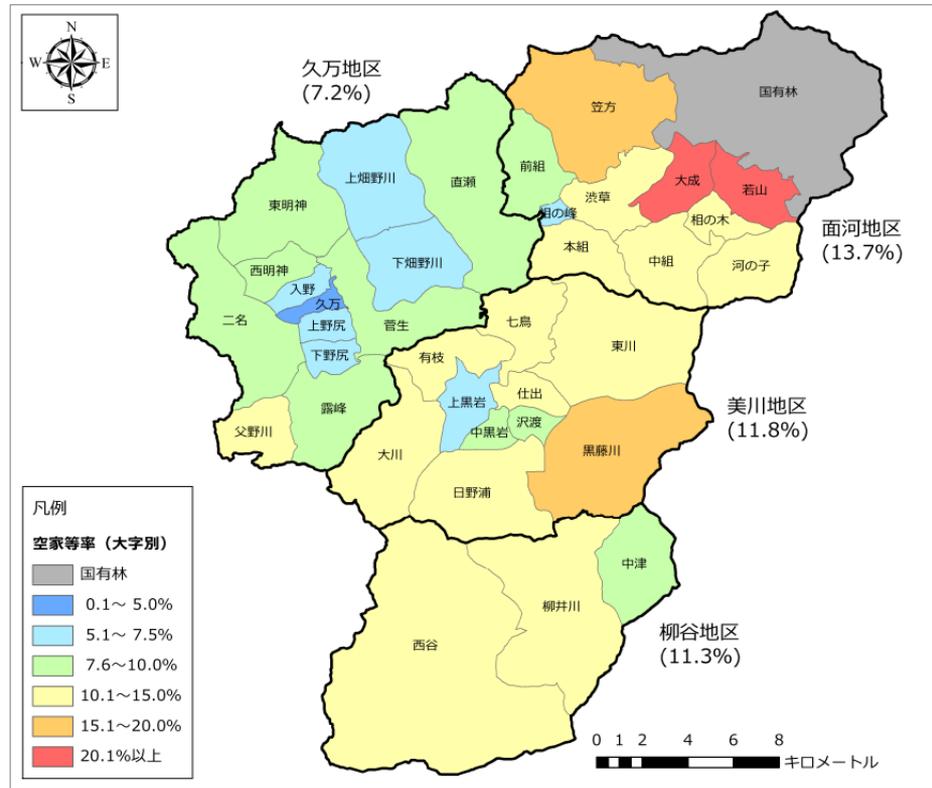
▲ 新築の分布状況 (用途地域)

▶ 空き家実態調査によると、空家等数では久万地区（640件）で最も多くなっており、空家等率では面河地区（13.7%）で最も高い



資料：久万高原町空家等対策計画

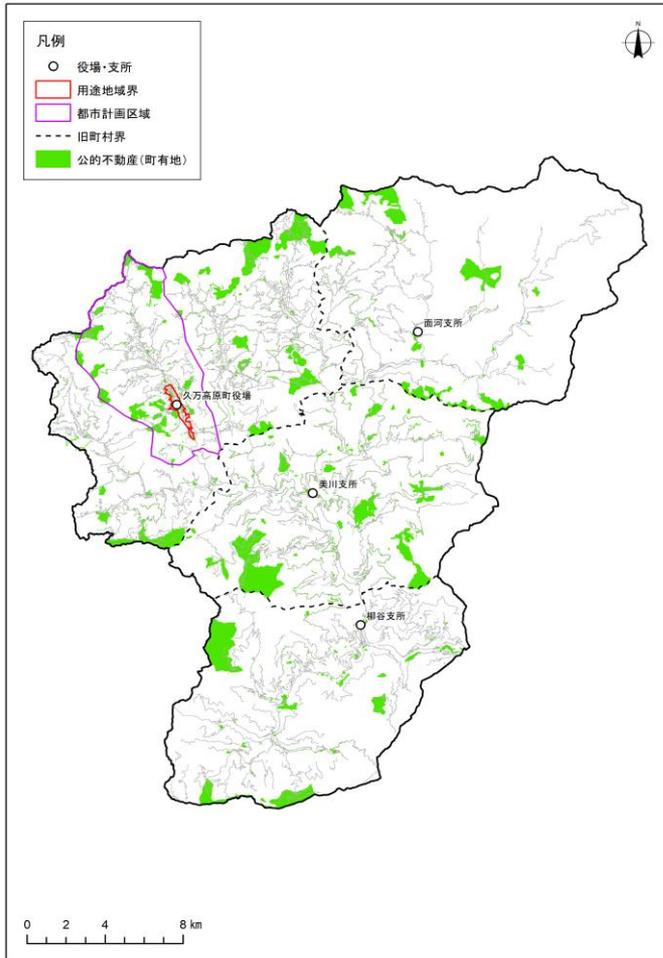
▲ 空家等数の分布状況



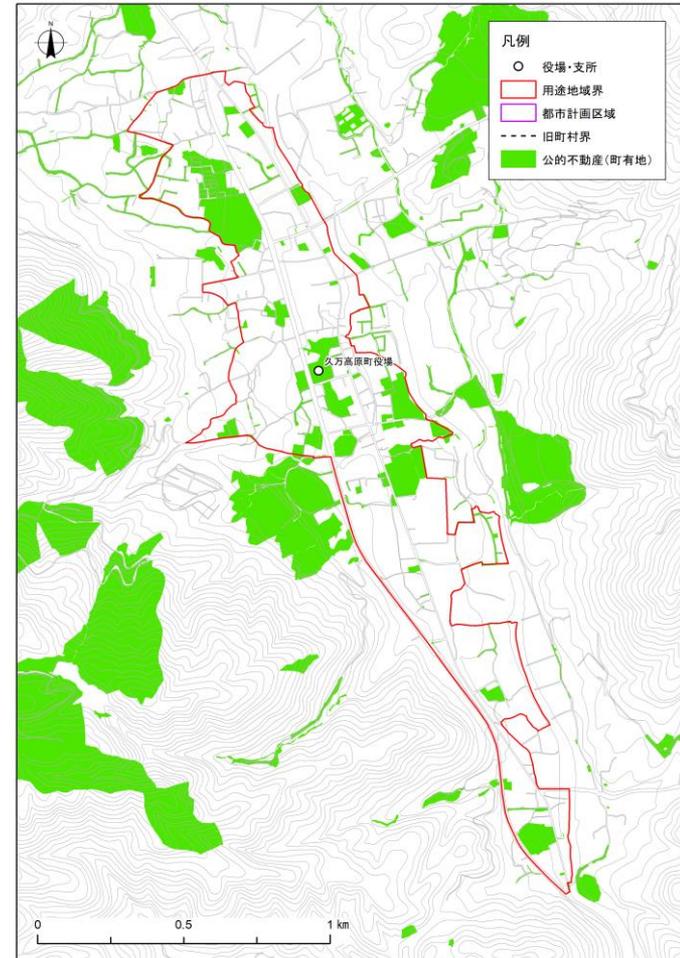
資料：久万高原町空家等対策計画

▲ 空家等率の分布状況

▶ 公的不動産（町有地）の状況を見ると各地域に分布しており、用途地域内においても一定程度の面積の土地がある



資料：庁内資料



資料：庁内資料

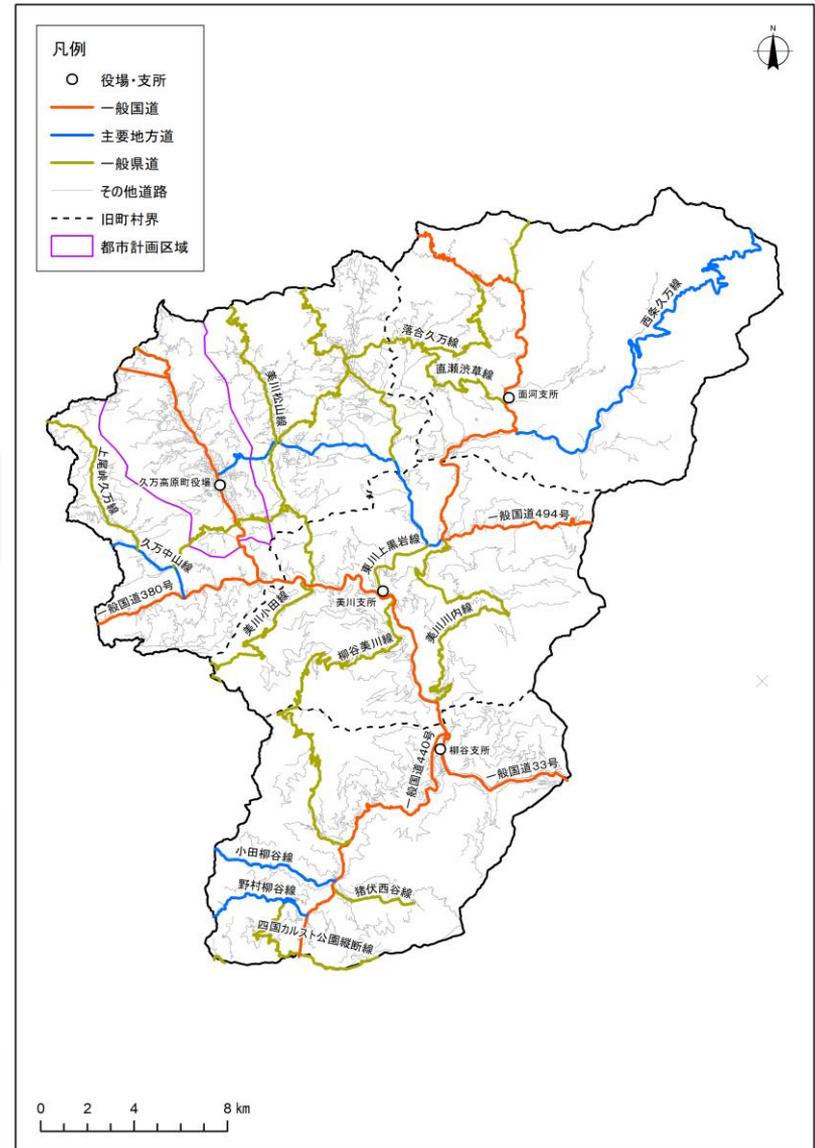
➡
中心部の
拡大

▲ 公的不動産の分布状況（都市計画区域）

▲ 公的不動産の分布状況（用途地域）

▶平成31年4月時点における道路網は実延長707,590m（改良済延長が401,144m、未改良延長が306,446m）で改良率56.7%

	実延長 (m)	改良済延 長 (m)	未改良延 長 (m)	改良率 (%)	舗装率 (%)
一般国道	95,393	84,725	10,668	88.8	100.0
主要地方道	60,029	52,430	7,599	87.3	100.0
一般県道	170,952	74,218	96,734	43.4	84.1
町道	381,216	189,771	191,445	49.8	70.8
合計	707,590	401,144	306,446	56.7	80.4

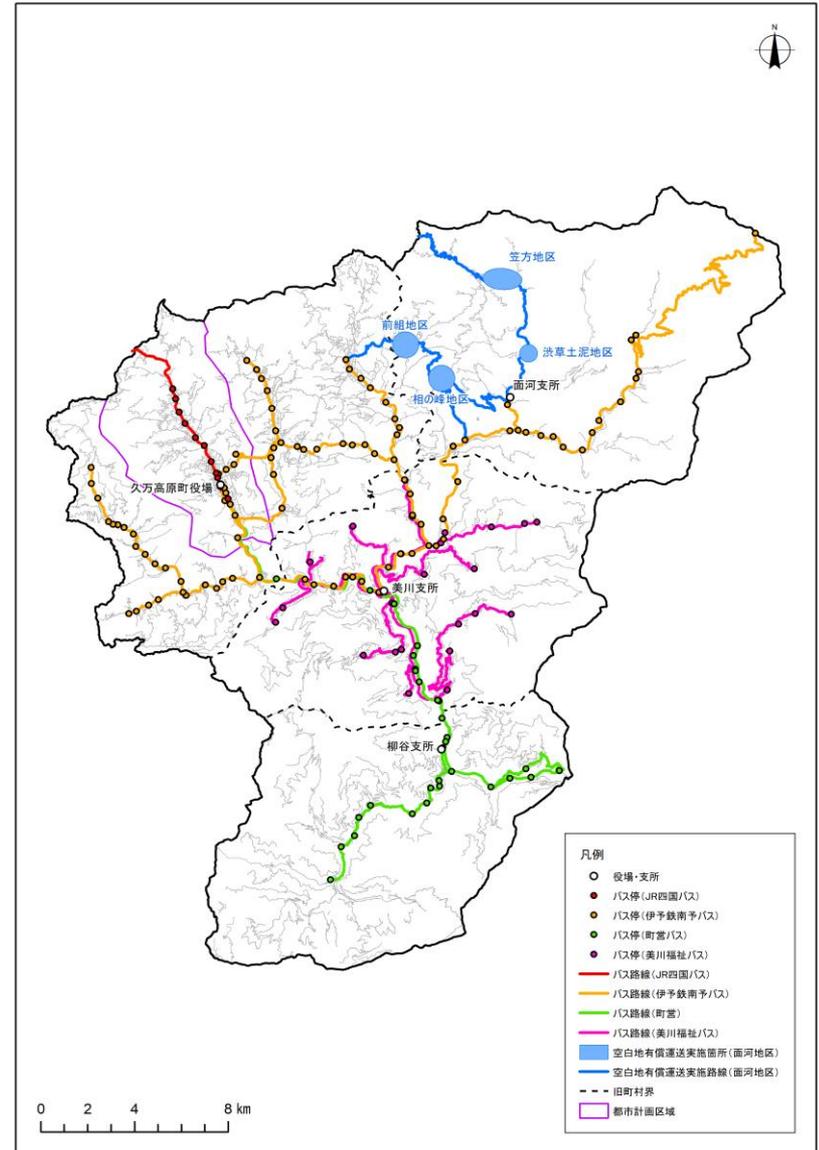


資料：全国道路・街路交通情勢調査

▲ 道路整備状況

- ▶ 久万高原町は **バス路線が主な公共交通機関**
- ▶ JR四国バス、伊予鉄南予バス、町有代替バス（久万落出線・古味線・岩川線）のほか、美川福祉バス、交通空白地運送（面河地区）が運行

種別	路線名等	運行事業者等
JR四国バス	久万高原線	ジェイアール四国バス株式会社
伊予鉄南予バス	久万	伊予鉄南予バス株式会社
町営バス	久万落出線	久万高原町
	古味線	
	岩川線	
美川福祉バス	—	久万高原町（保健福祉課）
空白地有償運送	面河地区	面河地区地域運営協議会

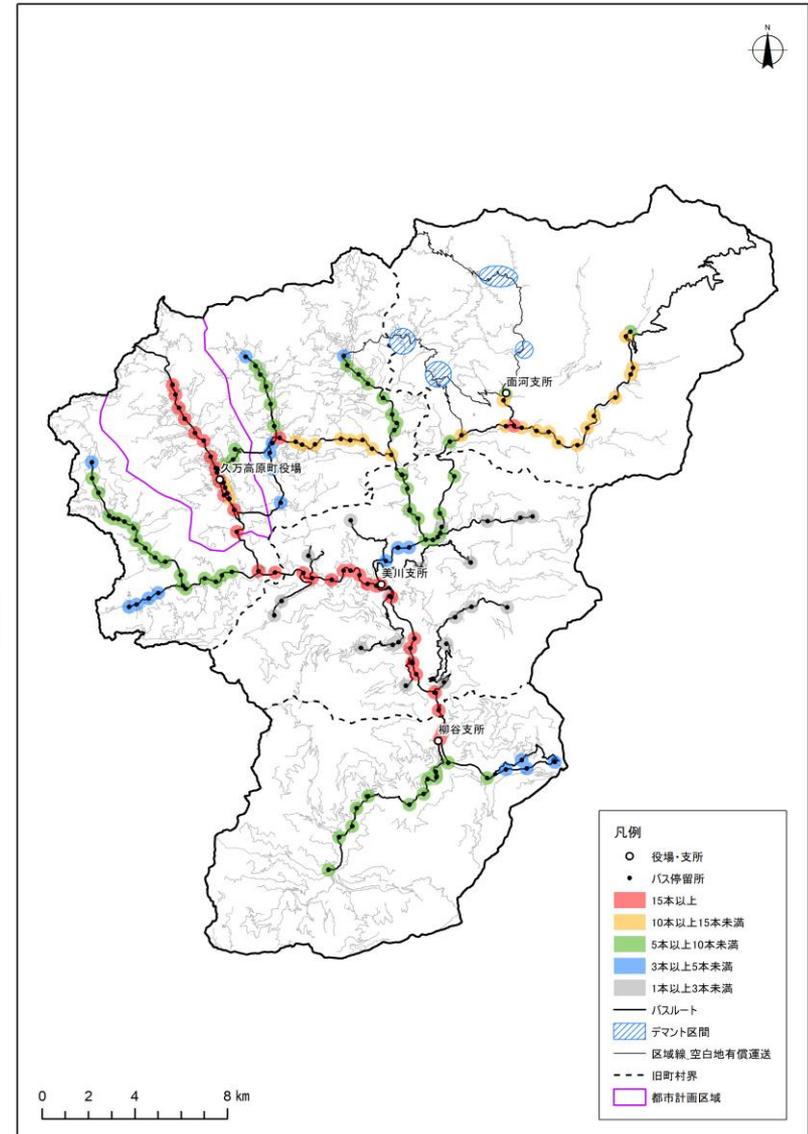


▲ バス路線

資料：庁内資料

- ▶ バスの運行本数毎に人口カバー率をみると、用途地域内ではカバー率は95%以上
- ▶ 町全域でみると、バス利用圏域ではないエリア（交通空白地域）も約2割存在

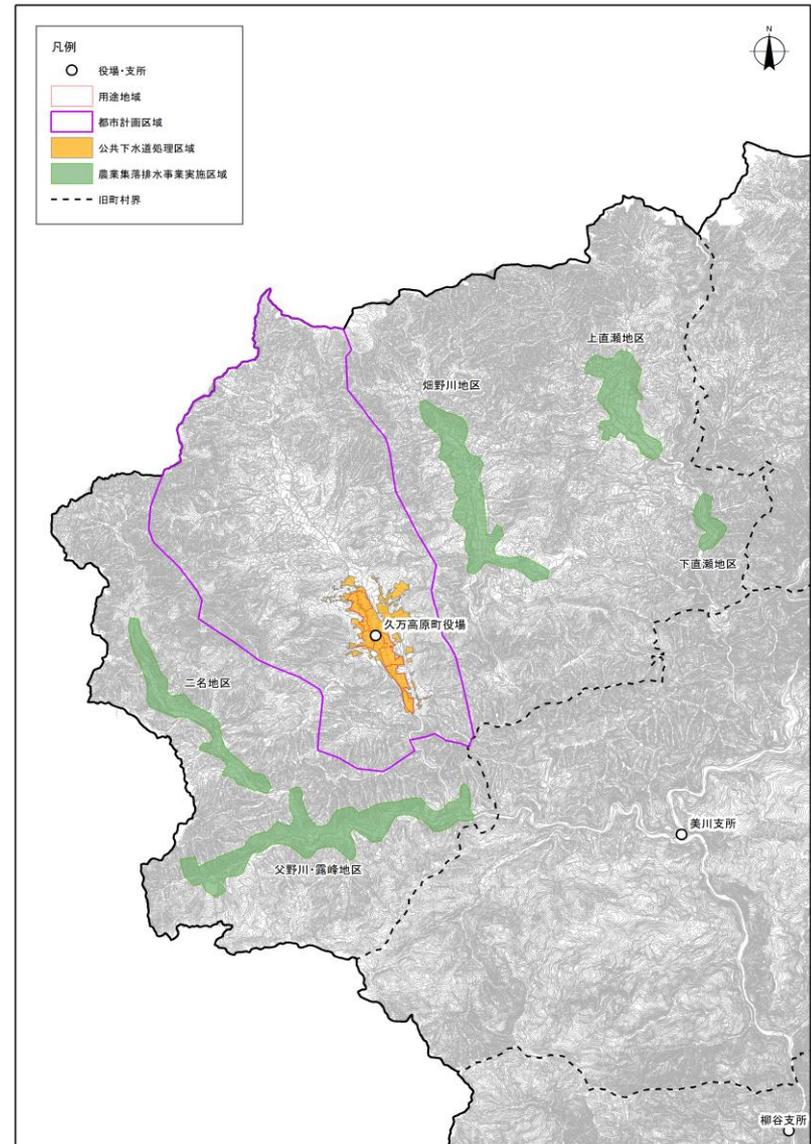
運行本数	バス利用圏域カバー人口			バス利用圏域カバー率		
	町全域	都市計画区域	用途地域	町全域	都市計画区域	用途地域
15本以上	3,754	2,783	2,004	44%	70%	95%
10本以上	4,254	2,942	2,031	50%	74%	96%
5本以上	5,797	3,239	2,031	69%	82%	96%
3本以上	6,169	3,239	2,031	73%	82%	96%
1本以上	6,682	3,239	2,031	79%	82%	96%



資料：庁内資料、ジョルダンによる乗換案内検索

▲ バス運行本数

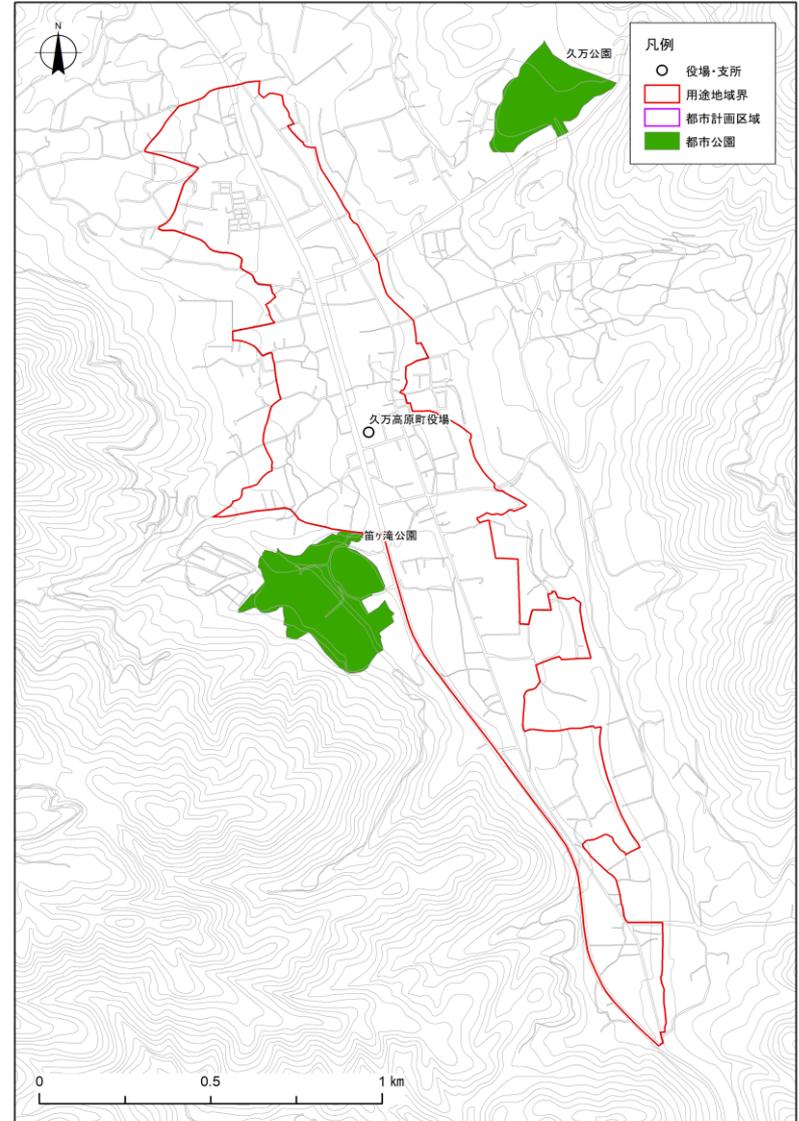
- ▶ 下水道は、公共下水道、農業集落排水（畑野川地区、二名地区、上直瀬地区、父野川・露峰地区、下直瀬地区）、合併浄化槽
- ▶ 令和元年度における公共下水道の接続率は72.7%
- ▶ 農業集落排水の接続率は、畑野川地区の88%を除き70%台（全体で78.7%）



資料：庁内資料

▶ 都市計画公園は、**久万公園**と**笛ヶ滝公園**の2箇所があり、開設率はそれぞれ100.0%、91.3%

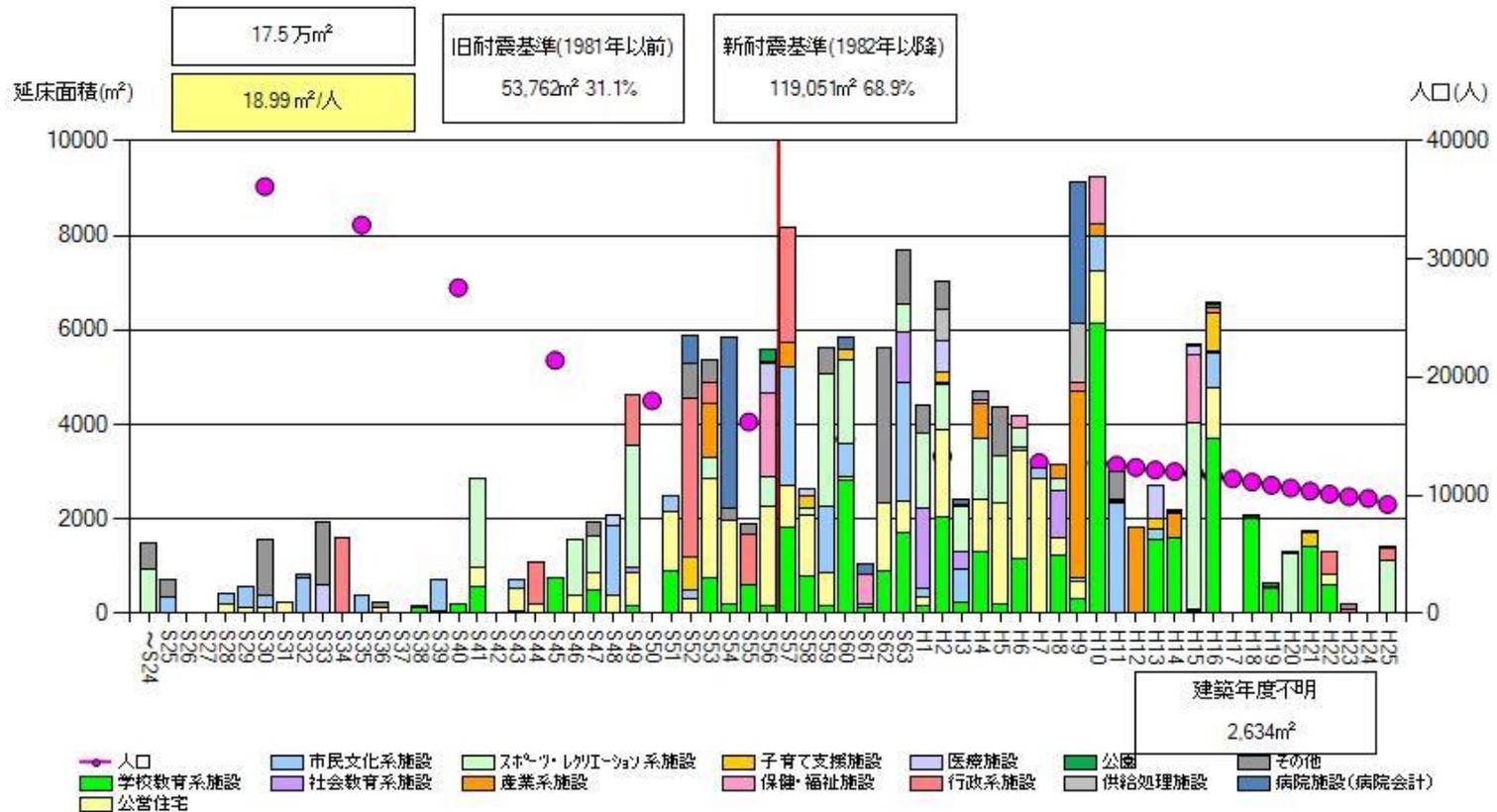
名称	種別	面積		開設率 (%)
		計画 (ha)	開設 (ha)	
久万公園	地区公園	6.0	6.0	100.0
笛ヶ滝公園	総合公園	10.6	9.68	91.3



資料：庁内資料

▲ 都市計画公園の位置

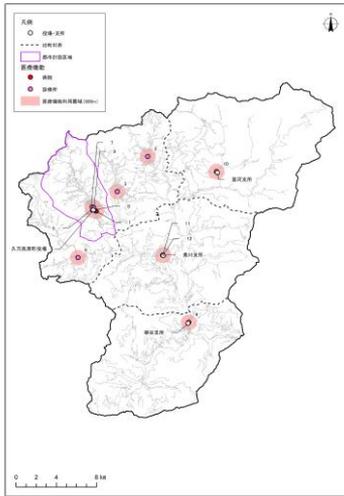
- ▶ 公共施設は昭和50年頃から平成16年頃にかけて集中的に整備
- ▶ 新耐震基準である昭和56年以前に建築された施設は、延床面積全体の31.1%を占める



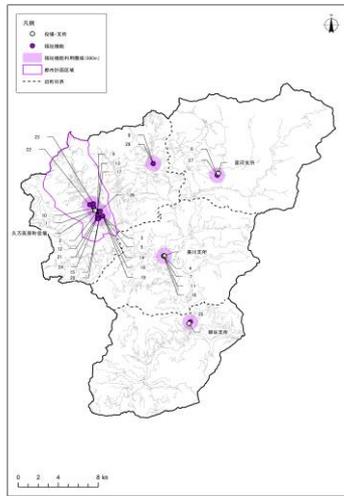
資料：久万高原町 公共施設等総合管理計画

▲ 建物系公共施設の築年整備状況

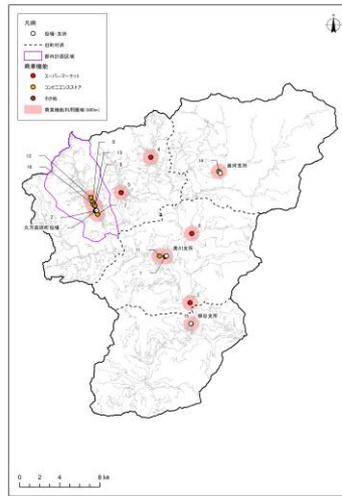
▶ 都市機能として、医療機能、福祉機能、商業機能、子育て支援機能、教育機能を精査し、それぞれ人口カバー率を算出



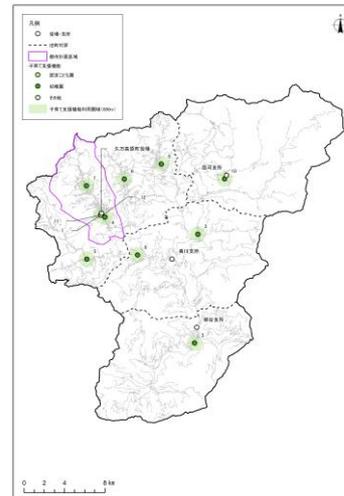
医療機能



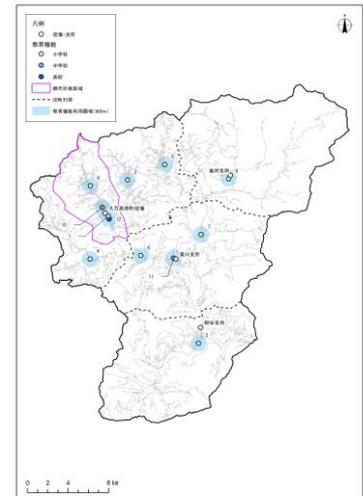
福祉機能



商業機能



子育て支援機能



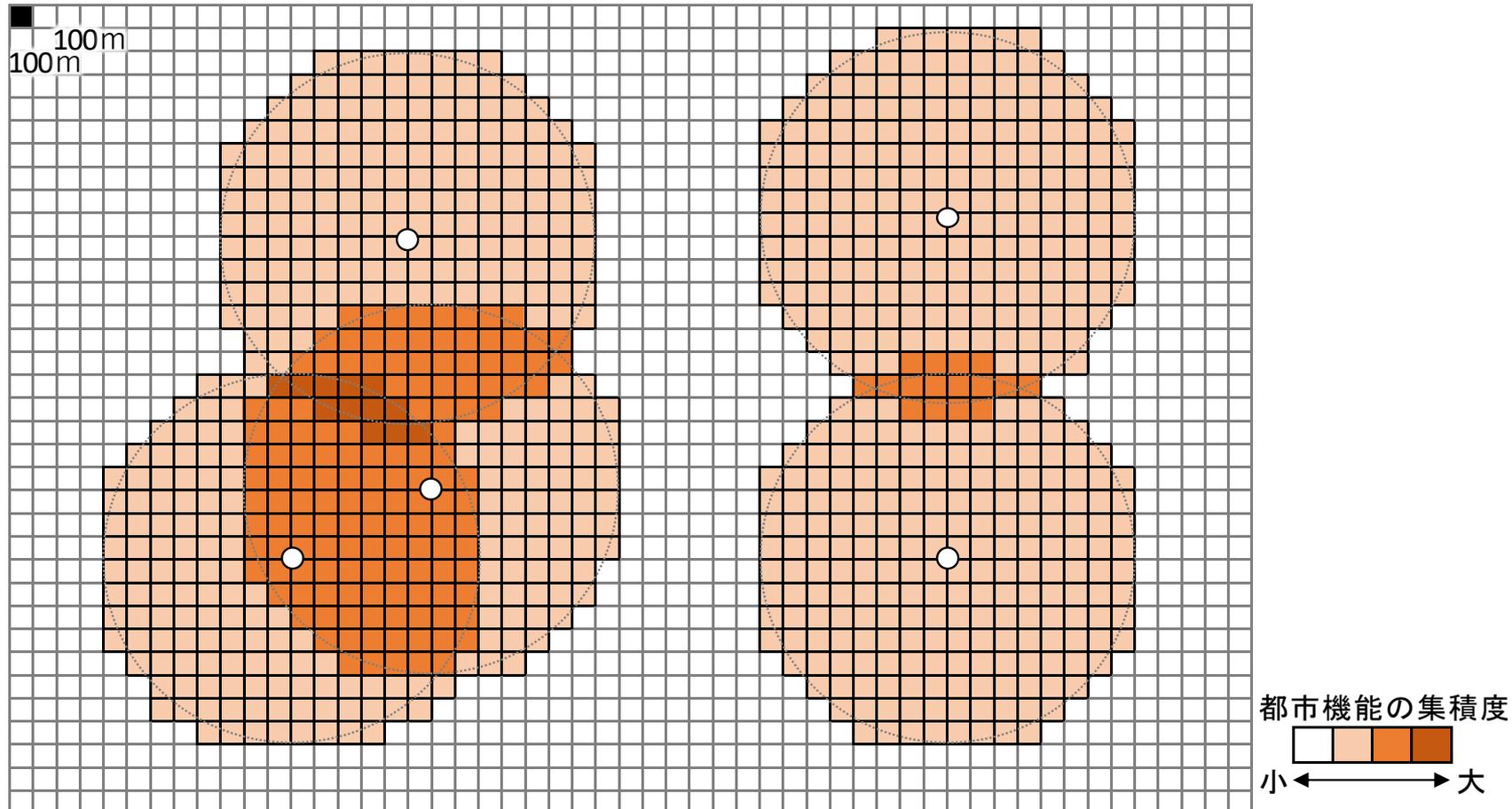
教育機能

▶ 用途地域内は70%以上の高水準

▶ 町全域では概ね5割程度のカバー率

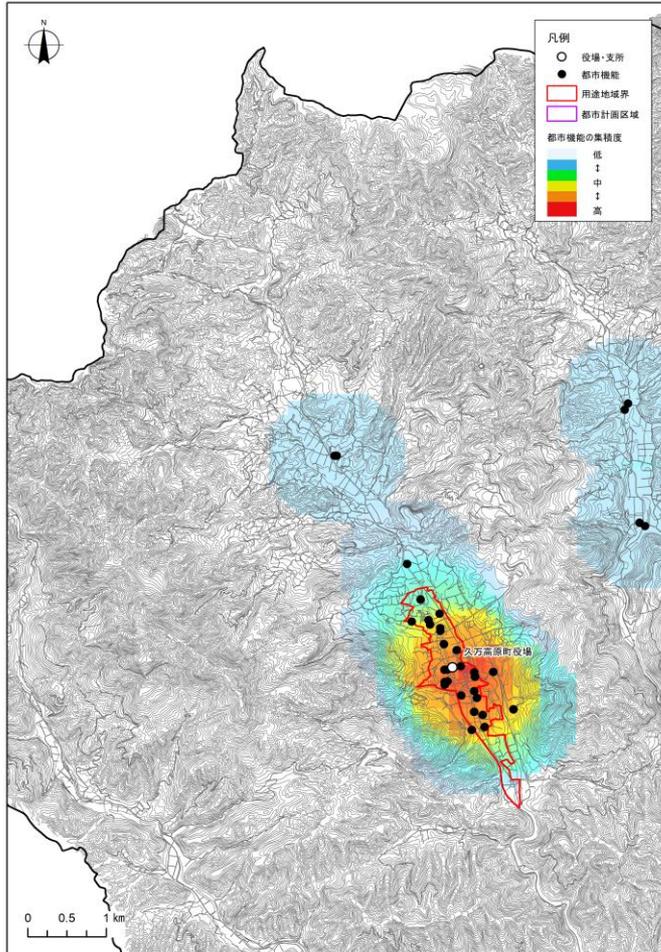
運行本数	町全域	都市計画区域	用途地域
医療機能	44.6%	65.5%	86.8%
福祉機能	42.4%	76.7%	97.7%
商業機能	51.7%	71.6%	87.8%
子育て支援機能	41.4%	58.7%	70.5%
教育機能	54.4%	82.7%	95.7%

- ▶ 都市機能の集積度を評価するため、各都市機能施設の利用圏域の重なりを集計し、利用圏域に含まれる区域を対象に100mメッシュ毎に集積度を評価

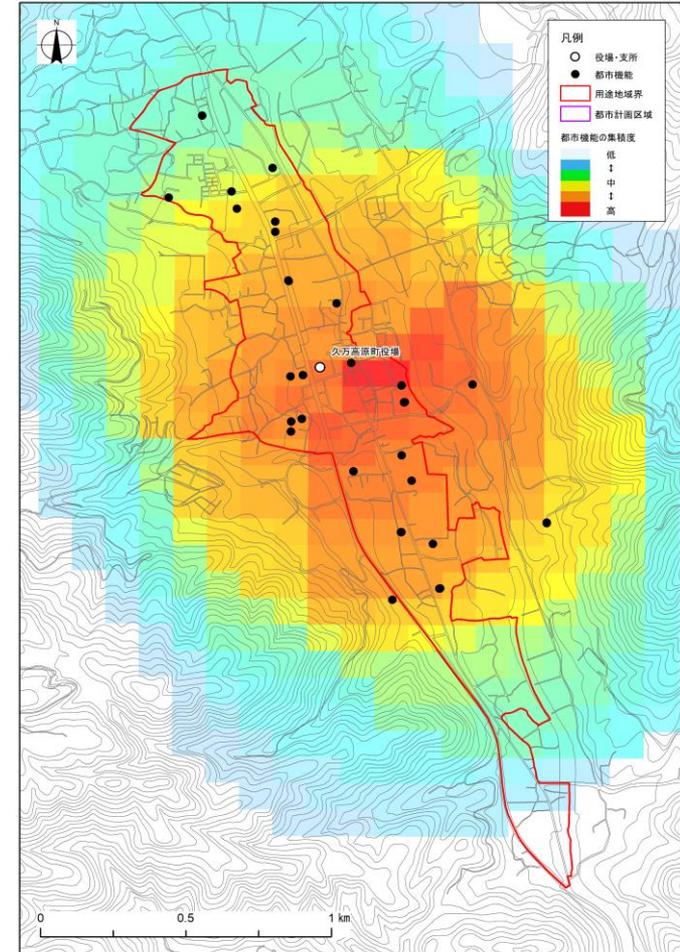


▲ 都市機能の集積度分析イメージ

▶ 久万高原町役場周辺から用途地域外にかけて特に集積度が高い



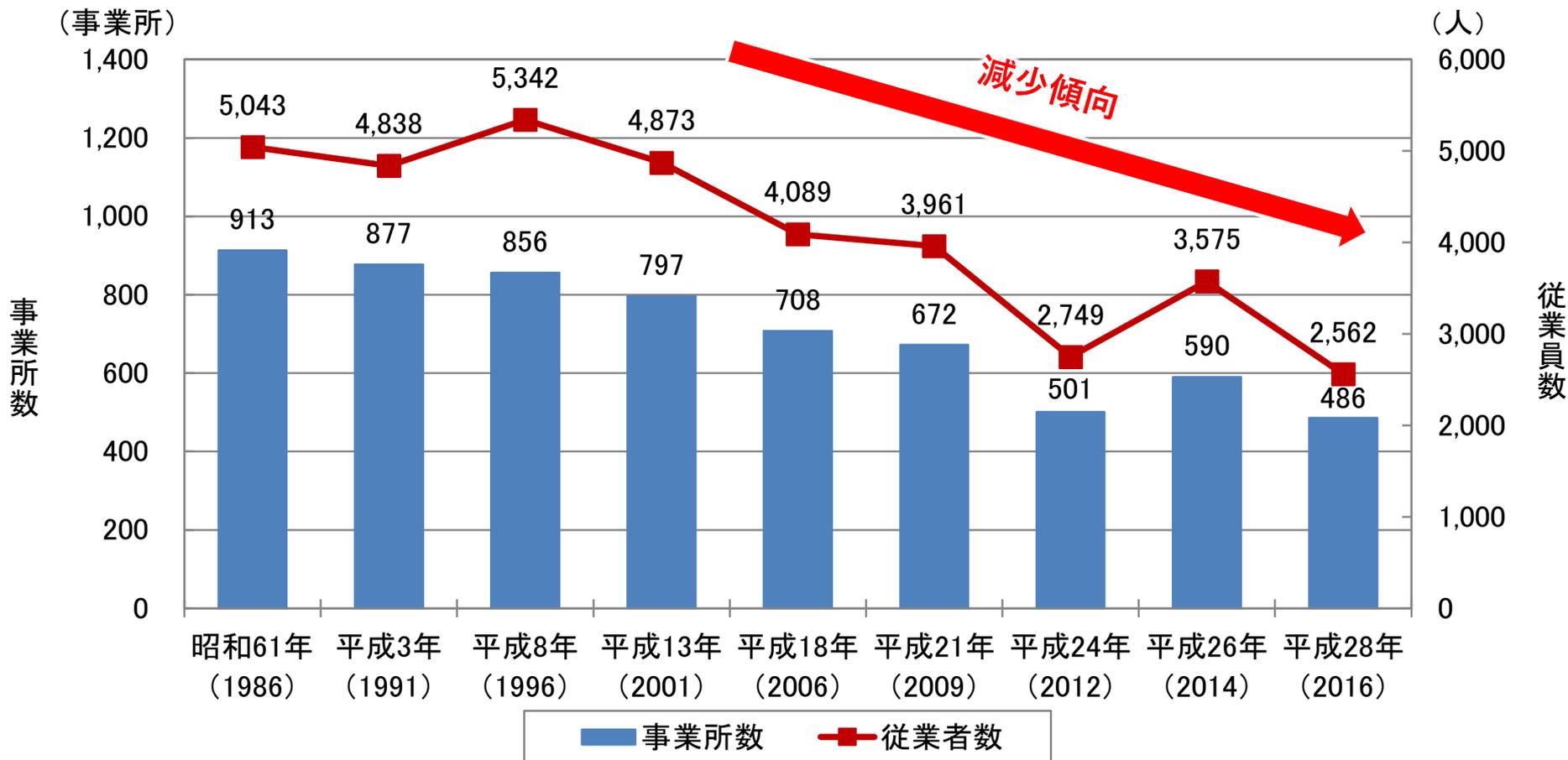
➡
中心部の
拡大



▲ 都市機能の集積度 (都市計画区域)

▲ 都市機能の集積度 (用途地域)

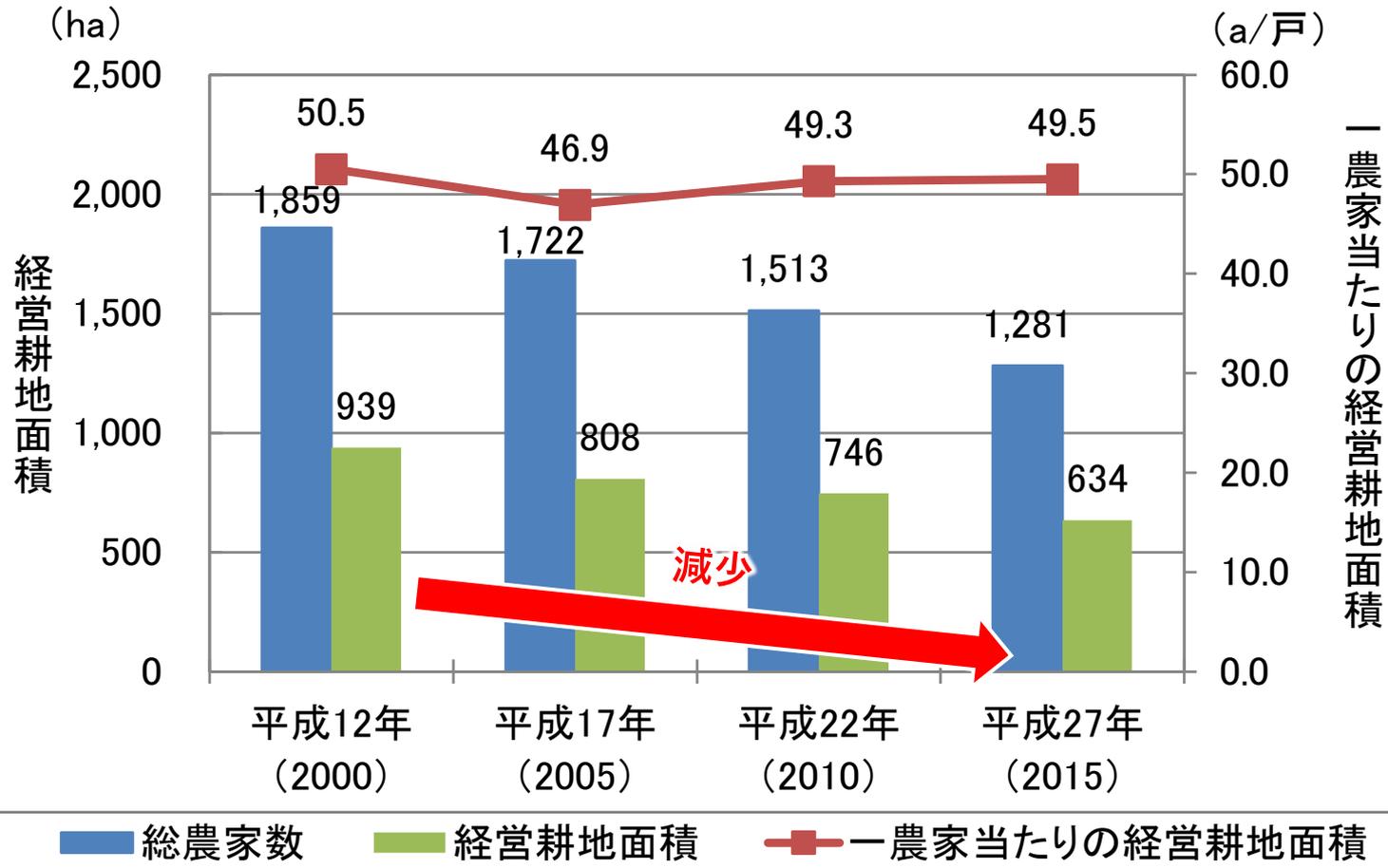
▶事業所及び従業者数は、どちらも概ね減少傾向



資料：事業所・企業統計調査（昭和61年～平成18年）、経済センサス（平成21年・26年は基礎調査、平成24年・28年は活動調査）

▲ 事業所、従業者数の推移

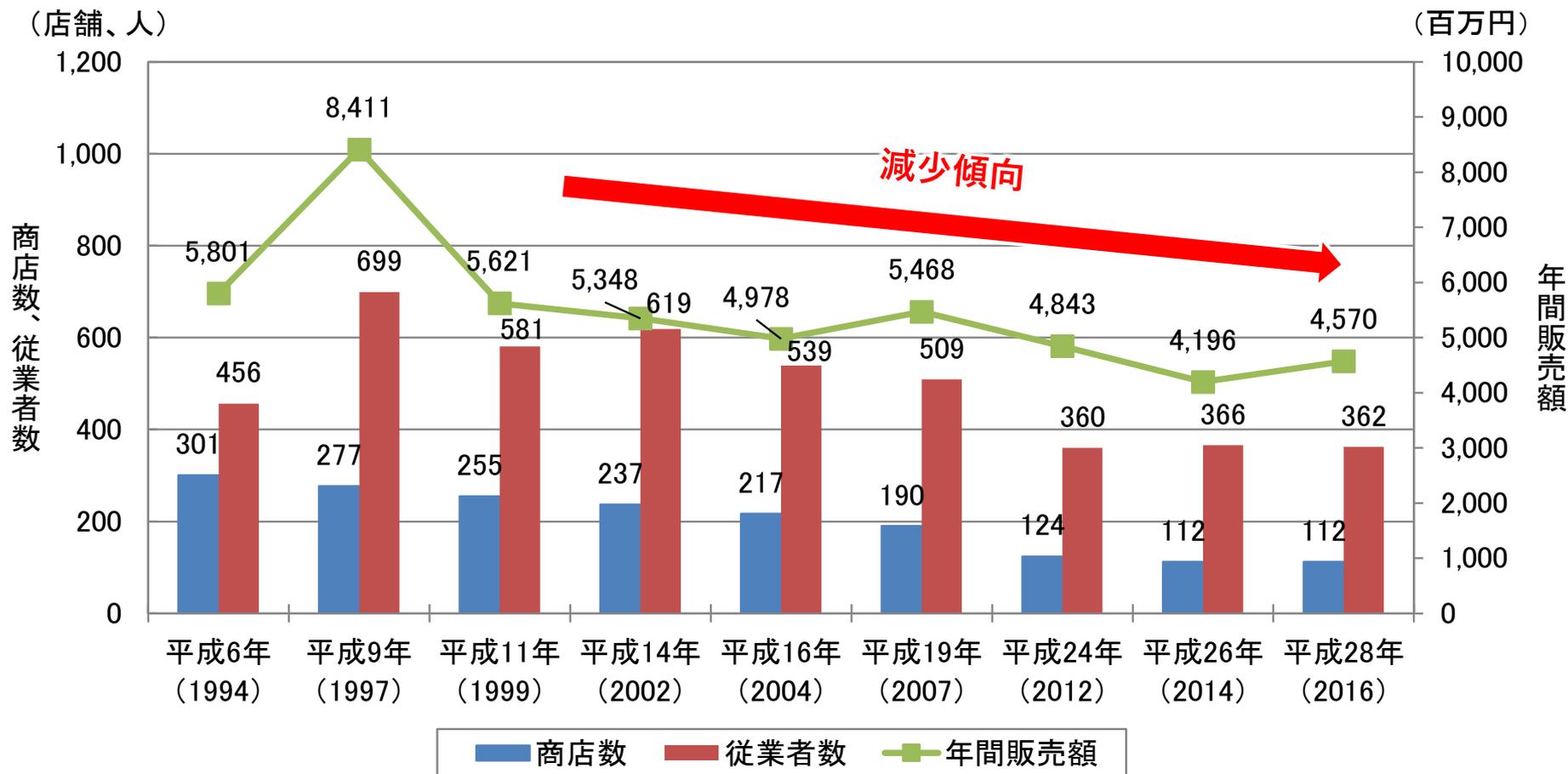
▶ 経営耕地面積の推移をみると、農家数と同様に一貫して減少



資料：農林業センサス

▲ 経営耕地面積の推移

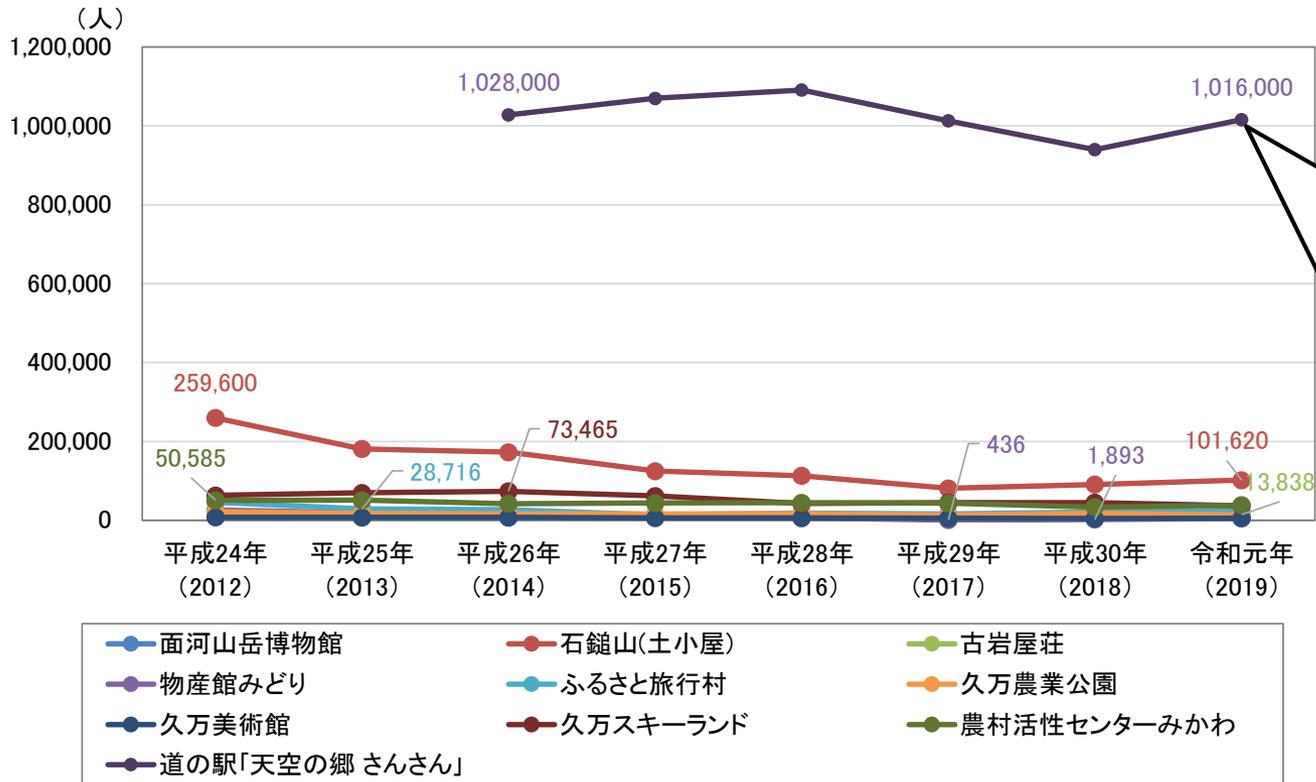
▶小売業における商店数、従業者数、年間卸売販売額をみると、長期的には減少傾向



▲ 小売業の動向

資料：商業統計調査

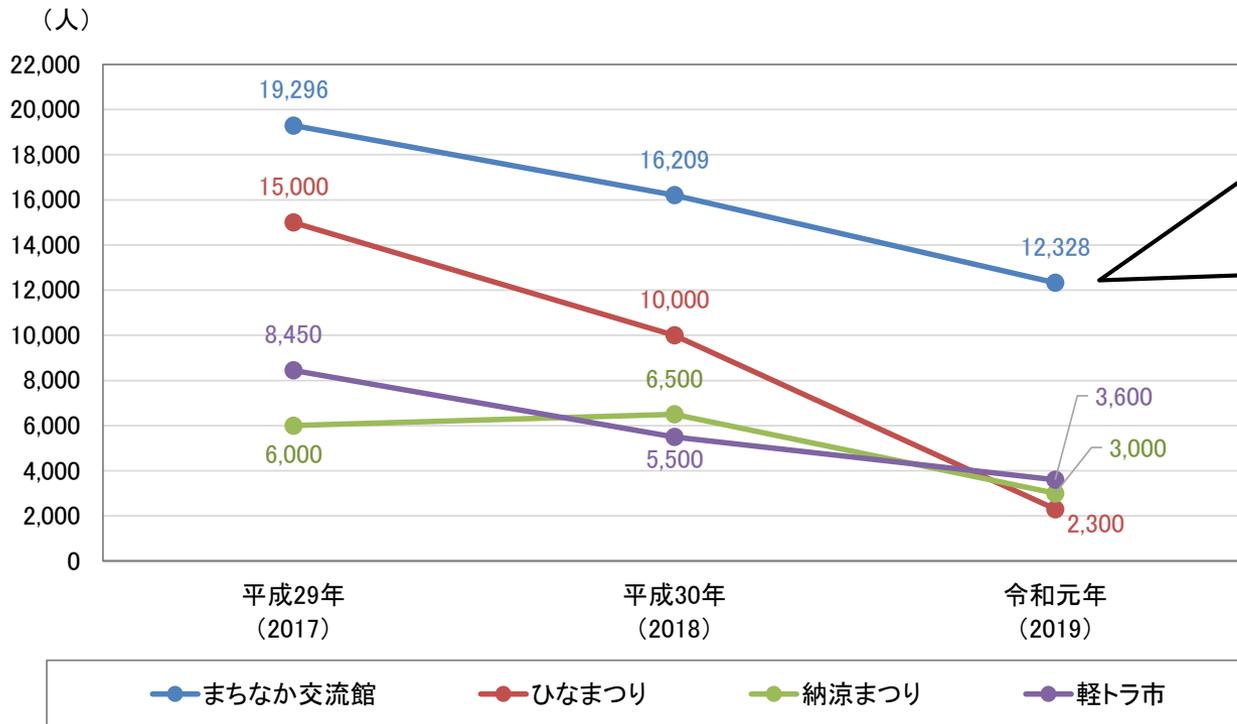
▶ 主要観光施設の利用者数をみると、道の駅「天空の郷 さんさん」が平成26年のオープン以来、年間約102万人の集客と最も多い



資料：愛媛県の統計

▲ 主要観光施設の利用者数

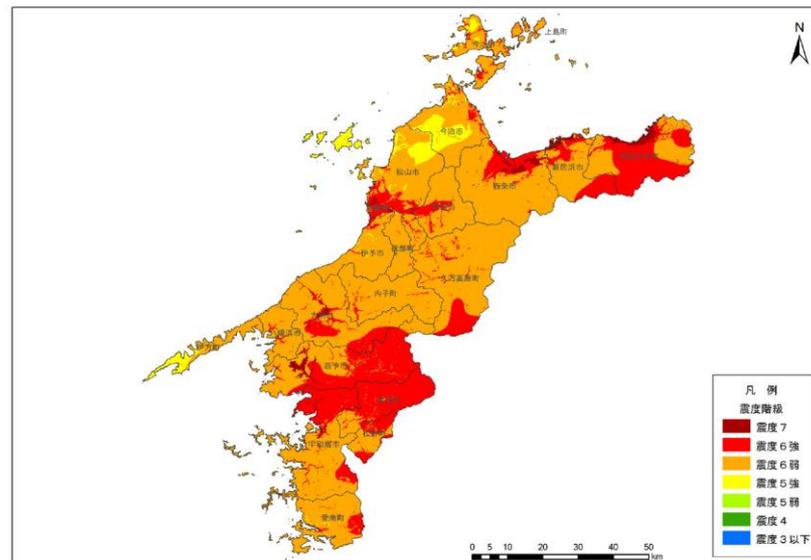
- ▶ 久万街道の商店街について、イベントの参加者数をみると **いずれも減少傾向**
- ▶ 最も参加者数が多い **「まちなか交流館」** は、久万産材で再建された **交流拠点施設**



資料：庁内資料

▲ 商店街イベントの参加者数の推移

▶平成25年における愛媛県地震被害想定調査結果によると、久万高原町では南海トラフ巨大地震による影響が6強と最も大きいと想定



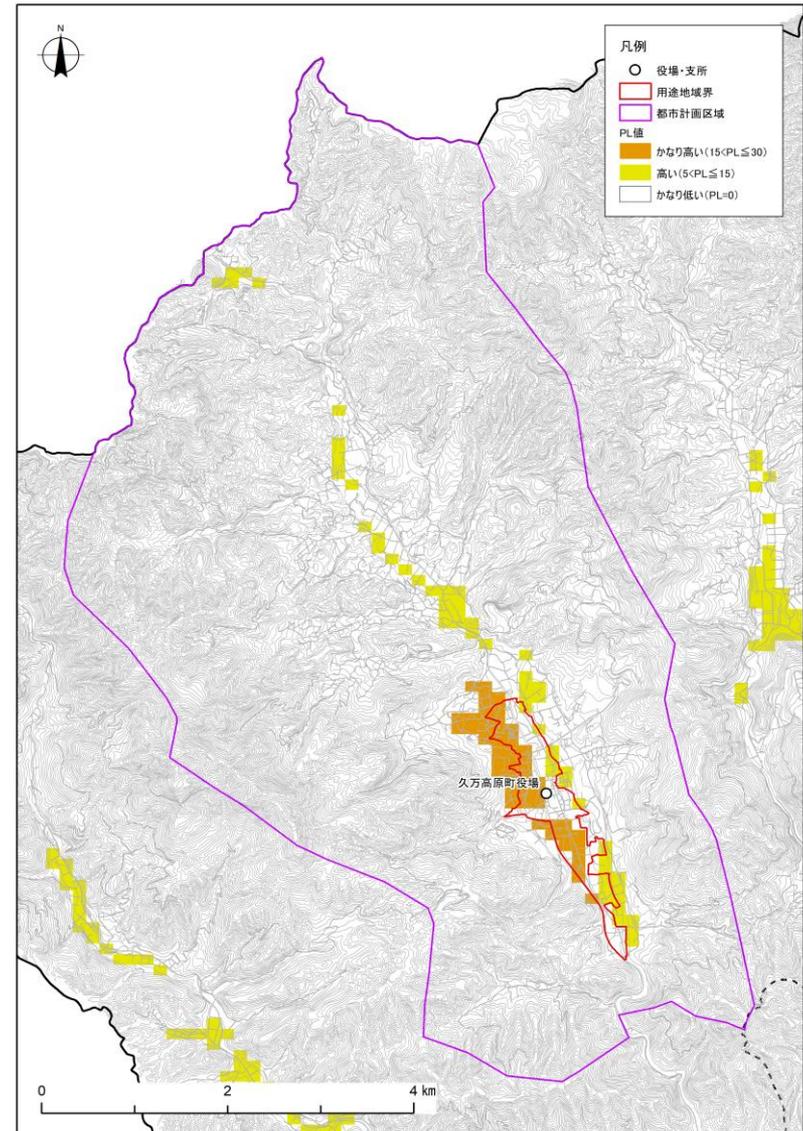
▲ 南海トラフ巨大地震における震度分布

種別	名称	久万高原町	
		最大震度	最大PL値
海溝型地震	①南海トラフ巨大地震	6強	15.4
	②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側）	5強	4.0
	②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側）	5弱	1.9
内陸型地震	③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（中央構造線断層帯）の地震	5強	1.1
	④石鎚山脈北縁（中央構造線断層帯）の地震	5強	1.7
	⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘（中央構造線断層帯）の地震	6弱	5.9

▲ 想定される地震と久万高原町における被害

▶南海トラフ巨大地震では町中心部等において液状化危険度が「かなり高い」エリアがあると想定

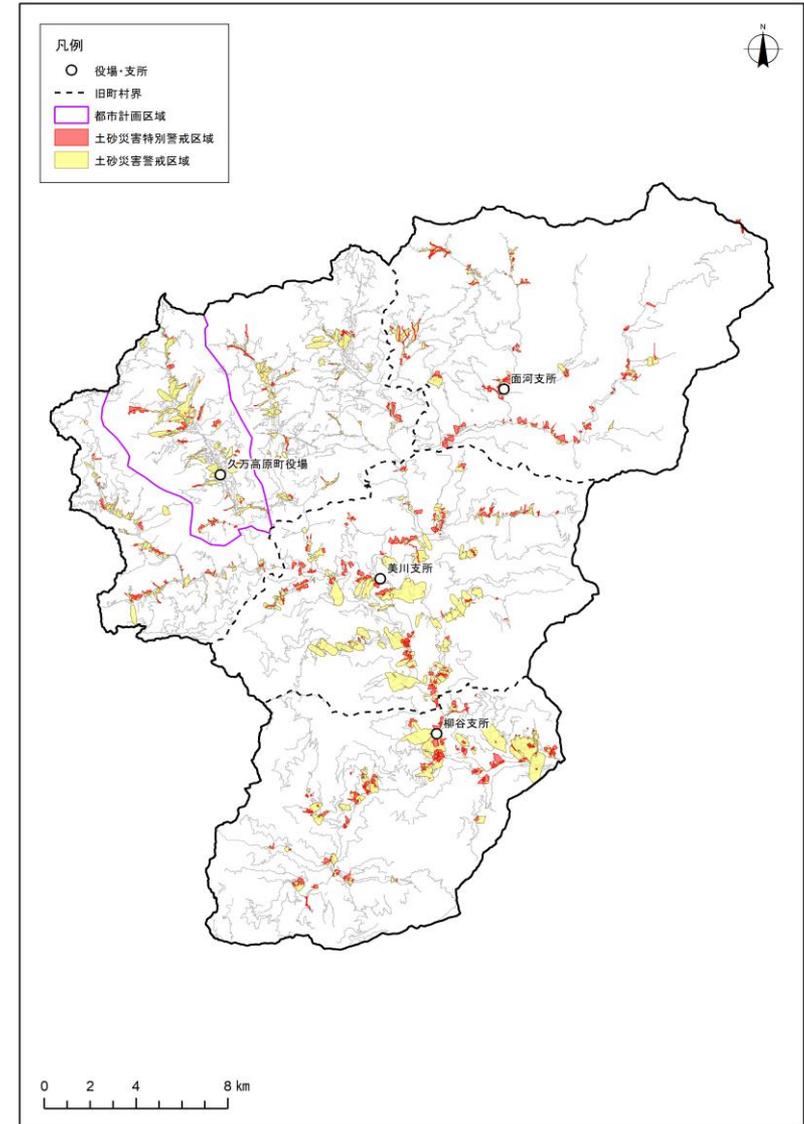
※液状化とは地下水を豊富に含んだ砂質地盤が、地震動によって高くなった地下水圧により、砂の粒子間の結合と摩擦力が低下し、液体のように緩んで動く現象



資料：愛媛県地震被害想定調査結果

▲ 液状化危険度（PL値）（都市計画区域）

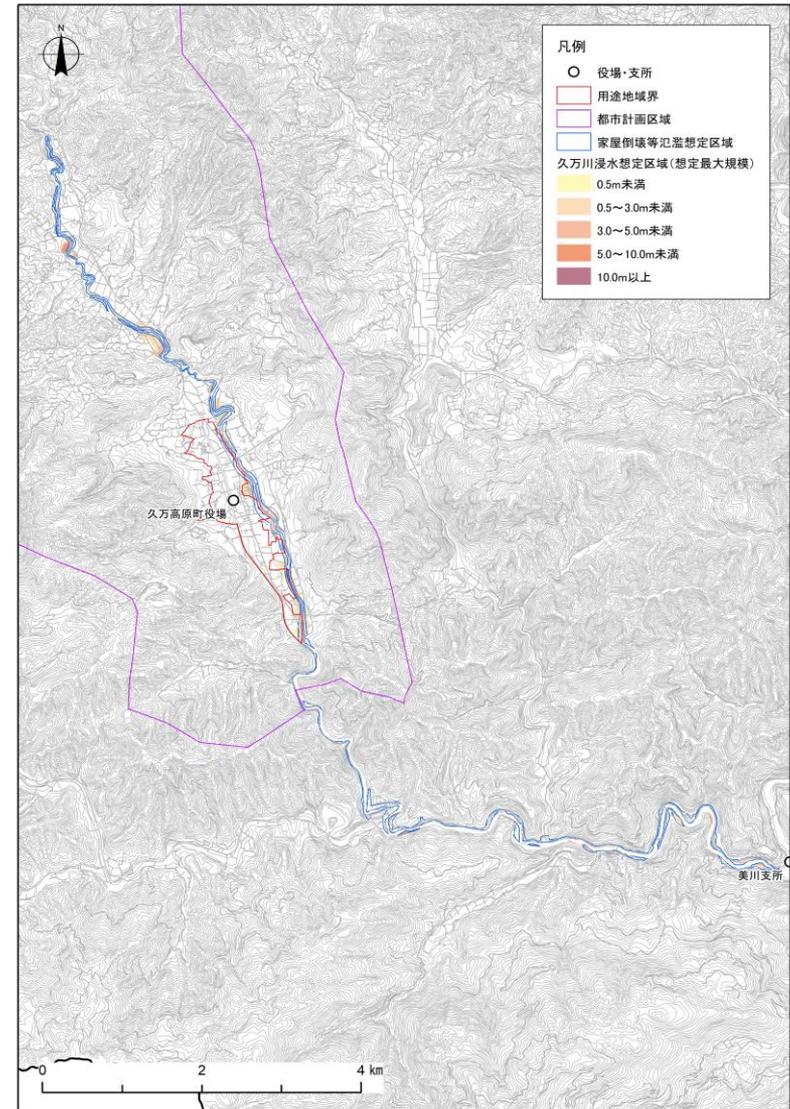
- ▶ **令和2年現在の指定状況**
 - 土砂災害警戒区域：632箇所
 - 土砂災害特別警戒区域：482箇所
- ▶ **久万高原町役場周辺など、用途地域内の一部に土砂災害警戒区域が指定**



資料：えひめ土砂災害情報マップ

▲ 土砂災害警戒・特別警戒区域

▶水防法に基づく久万川
における洪水浸水想定
区域（想定最大規模降
雨）をみると、一部用
途地域内に浸水が想定



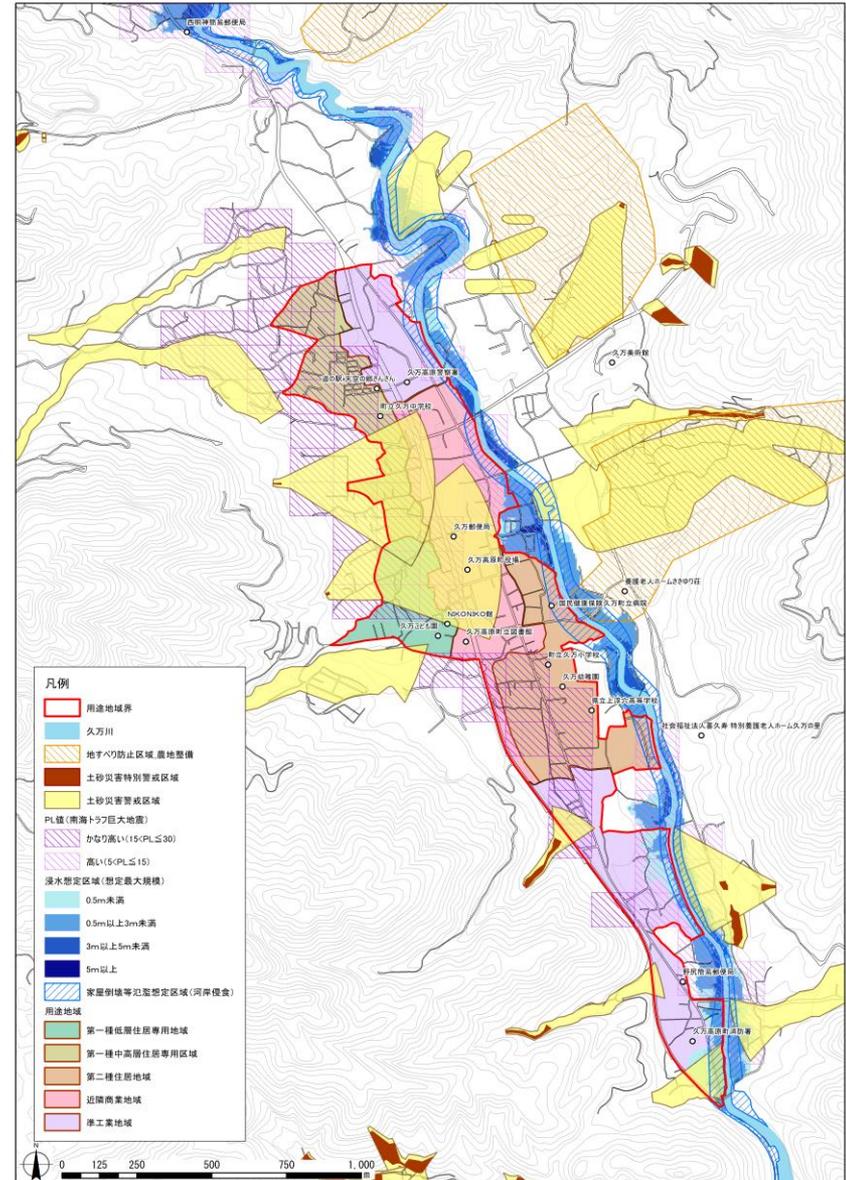
資料：愛媛県河川課

▶ 町中心部の災害リスク は別紙参照

※想定した災害

- ・ 土砂災害警戒区域・特別警戒区域
- ・ 地すべり防止区域
- ・ 液状化危険度 (PL値)
(南海トラフ巨大地震)
- ・ 浸水想定区域 (久万川・想定最大)
- ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)

資料：愛媛県地震被害想定調査結果、えひめ土砂災害情報マップ、
愛媛県河川課、庁内資料



▲ 町中心部の災害リスク